

---

# 公共施設管理運営コスト検討調査業務報告書

---

令和5年3月

稲敷市



# 目 次

I 調査の概要 .....	1
1. 業務の目的.....	3
2. 本調査の対象期間の設定.....	4
3. 業務内容 .....	5
II 公共施設管理運営コスト検討調査.....	7
1. 公共施設に関する現況調査の概要.....	9
(1) 既存計画の整理.....	9
(2) 公共施設維持管理に関する現状の整理.....	10
(3) 公共施設の利用状況等調査.....	11
(4) 公共施設へのヒアリング結果の概要.....	16
2. 公共施設に関するコストの可視化.....	18
2-1 基本的な考え方.....	18
2-2 将来的な公共施設の維持改修費用（管理コスト）の算出.....	19
(1) 既存計画における公共施設改修費等の費用.....	19
2-3 将来的な投資的経費の見通し（投資可能額）の算出.....	24
(1) 既往の歳入・歳出の決算状況からの算出.....	24
(2) 中長期財政見通しからの算出.....	27
(3) 将来の投資可能額の設定.....	28
2-4 管理運営コストの検討.....	29
★パターン A-1：投資可能額（実績値）と管理コストの比較.....	29
★パターン A-2：投資可能額（平準化）と管理コストの比較.....	30
★パターン B：投資可能額（財政見通し）と管理コストの比較.....	31

<b>3. 公共施設管理運営に関する課題の整理</b> .....	32
(1) 公共施設の利用状況等からの分析 .....	32
(2) 公共施設ヒアリングからの分析 .....	32
(3) 公共施設に関するコストの可視化からの分析 .....	33
<b>III 今後の進め方について</b> .....	35
<b>1. 公共施設管理運営コストの議論を進めるために</b> .....	37
(1) 再編方針の位置づけの明確化と整理 .....	37
(2) 施設利用データ等の収集・分析 .....	38
(3) 庁内及び市民のコンセンサスの醸成 .....	39
(4) その他 .....	40
<b>2. 公共施設に関する市民意識調査の概要</b> .....	41
(1) 調査の目的 .....	41
(2) 調査の内容 .....	41
<b>資料編</b> .....	51

# I 調査の概要

---



## 1. 業務の目的

平成 17 年 3 月に誕生した稲敷市も、合併 18 年目を迎えます。その間、東日本大震災をはじめ、リーマンショックによる世界同時不況、昨今では、新型コロナウイルス感染症の世界規模での感染拡大、国際情勢のひっ迫等による物価高騰など、本市を取り巻く状況は、大きく変化してきています。

そのような中、合併当初から市の最重要課題とされてきた人口減少・少子高齢化においては、様々な取組を進めるも、歯止めがかからず、令和 3 年には市の一部である旧桜川村が、翌 4 年には市全域が過疎地域指定され、人口減少・少子高齢化対策という視点から、地域の持続可能性という視点に変わってきている状況です。

また、本市の財政状況は、一般会計予算規模が約 220 億円程度で推移し、自主財源が約 4 割である一方、財源の 6 割を地方交付税等の依存財源が占め、財源の過半を国等に頼った財政構造となっています。さらに、今後の財政見通しにおいても、歳入面で人口減少に伴い市税や地方交付税等が減少することが予想される一方、歳出面でも高齢化に伴う扶助費の増加、老朽化した公共施設の大規模改修工事や道路、橋梁、上下水道等のインフラ設備の更新に係る費用の増加により、これまで以上に厳しい状況になることが見込まれるところです。

このような状況の中で、本市においては、平成 21 年 3 月「稲敷市学校再編整備実施計画」が策定されると、この学校教育以外の施設の再編方針を示した「稲敷市公共施設再編方針（2015）」が策定され、翌年には公共建築物だけでなく、インフラ施設を含めた「稲敷市公共施設等総合管理計画（2016）」が策定されています。その後は、各施設での長寿命化計画が策定され、中長期的な管理運営に係る方針や計画等が示されていますが、今後の厳しい行財政状況を見据えた場合、これらの公共施設等を持続できるのかが不透明な状況を迎えています。

したがって、本調査では、これらの公共建築物とともに、道路や上下水道のインフラ施設を含めた公共施設等を対象に、これらの管理運営コストについて、各種計画等を整理し、今後の人口見通しや財政見通しなどとの整合性を考慮したうえで、本市が持続可能な地域であるための公共施設等のあり方を調査・検討することを目的とします。

### 【公共施設等の各種計画一覧】

	策定年月	計画名称	策定部署
公共建築物系	H22.3. (2010)	学校再編整備実施計画	教育政策課
	H27.3. (2015)	公共施設再編方針	管財課
	H31.3. (2019)	学校施設長寿命化計画	教育学務課 (現：学務管理課)
	R2.3. (2020)	市営住宅等長寿命化計画	建設課
	R3.3. (2021)	保有施設保全計画	管財課
	R4.3. (2022)	屋外スポーツ施設個別計画	スポーツ振興課
インフラ施設系	H28.5. (2016)	公共施設等総合管理計画	管財課
	H29.3. (2017)	水道事業経営戦略	水道課
	R3.2. (2021)	農業集落排水施設最適整備構想	下水道課
	R3.3. (2021)	橋梁長寿命化修繕計画	建設課
	R4.3. (2022)	汚水処理施設修繕・改築計画 下水道ストックマネジメント計画	下水道課

## 2. 本調査の対象期間の設定

公共施設の各種計画等は、計画期間が各々設定されていますが、市全体の管理運営コストの検討を行うにあたっては、本調査としての対象期間の設定が必要となります。

本市の政策指針である総合計画においては、現在の中期基本計画が2023（R5）年度まで、その後は、後期基本計画が2024（R6）年度から2027（R9）年度となっていますが、近年の社会動向等を踏まえ、2024（R6）から第3次総合計画の基本構想及び前期基本計画をスタートする予定です。

また、公共施設の各種計画等の計画期間を踏まえて、本調査の対象期間を2024（R6）年度から2031（R13）年度の8年間と設定し、検討を行います。ただし、2022（R4）年度から2023（R5）年度も参考年度として調査対象期間に加えていきます。

### 【本調査の期間】

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
総合 計画	中期基本計画		前期基本計画(予)				中期基本計画(予)			
	第2次総合計画		第3次総合計画(予)							
調査 対象 期間	参考		調査対象期間							



### 3. 業務内容

#### ■公共施設管理運営コスト検討調査

##### (1) 公共施設に関する現況調査

稲敷市における公共施設の状況を明らかにするため、以下について整理します。

###### ①既存計画の整理

稲敷市の各部局で作成している公共施設の管理運営等に関する既存の各種計画等について収集・整理し、計画等の有無、稲敷市が実施している公共施設の整備、統廃合に関する動向等を把握します。

###### ②公共施設維持管理に関する現状の整理

稲敷市における公共施設の維持管理について、修繕・改修や管理運営コスト、長寿命化・耐震化等の現状、目標使用年次等を整理します。

###### ③公共施設の利用状況等調査

社会教育施設等について、統計データから施設の年間の利用日数及び利用者数等を確認し精査します。

###### ④公共施設へのヒアリング

社会教育施設等について、各施設の利用実態及び既存計画のみでは把握できない部分を、市の関係部局にヒアリングします。

##### (2) 公共施設に関するコストの可視化

(1)の資料や決算カード、財政見通し等を基に、稲敷市における公共施設の維持管理に関するコストについて、概要を示す図表等を作成します。

##### (3) 公共施設管理運営に関する課題の整理

上記(1)及び(2)で整理した稲敷市が管理運営する公共施設の状況を踏まえ、今後の稲敷市の財政状況等を考慮し持続可能な公共施設の管理運営に向けた課題を整理します。

#### ■今後の進め方について

##### (1) 公共施設管理運営コストの議論を進めるために

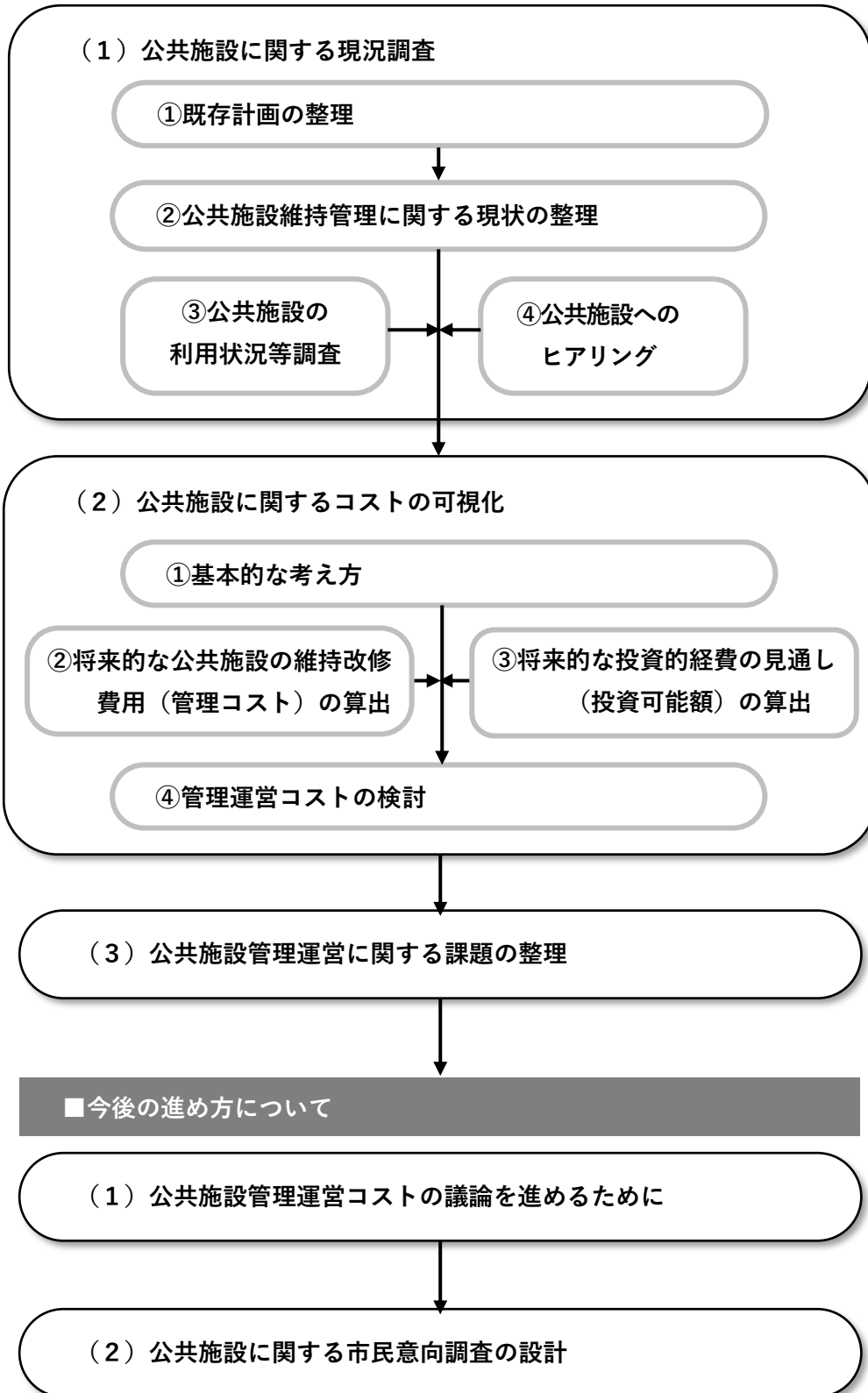
本調査後、さらに公共施設管理運営コストについての議論を深めるために、今後必要となる取組や検討体制を整理します。

##### (2) 公共施設に関する市民意向調査の設計

令和5年度に公共施設についての今後の利活用、統廃合を含めた公共施設のあり方についての市民意向調査の実施を予定し、本業務では、その設計(対象者、調査方式、設問内容等の検討・決定)までを行います。

## 【本調査の流れ】

### ■ 公共施設管理運営コスト検討調査



## II 公共施設管理運営コスト検討調査

---



# 1. 公共施設に関する現況調査の概要

## (1) 既存計画の整理

各公共施設の建築物及びインフラ系施設に関しては、次のような計画が存在し、それぞれの計画に沿って修繕や維持管理が進められています。

### 【公共建築物系】

公共建築物の類型	対象施設	所管課	既定計画
①庁舎施設	本庁舎、分庁舎	管財課	保有施設保全計画 (R3.3)
②保健福祉施設	福祉センター、 ハートピアいなしき	社会福祉課	保有施設保全計画 (R3.3)
	いこいのプラザ	高齢福祉課	
	保健センター	健康増進課	
③社会教育施設	公民館、生涯学習センター	生涯学習課	保有施設保全計画 (R3.3)
	図書館	図書館	
	歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	
	コミュニティセンター	生涯学習課	
④社会体育施設	体育館	スポーツ振興課	屋外スポーツ施設個別計画 (R3.12)
	フィールド施設	スポーツ振興課	
⑤学校教育施設	認定こども園、幼稚園、 保育所	学務管理課	学校施設長寿命化計画 (H31.3) 学校跡地等利用計画 (H27.3)
	小学校、中学校	学務管理課	学校施設長寿命化計画 (H31.3) 学校跡地等利活用計画 (H27.3)
	給食センター	給食センター	保有施設保全計画 (R3.3)
⑥その他	公的施設(シルバー人材センター等)	—	保有施設保全計画 (R3.3)
	子育て支援施設(児童クラブ)	こども支援課	
	防災施設	危機管理課	
	市民文化系施設(共同利用施設)	まちづくり推進課	
	産業系施設(えどさき笑遊館)	まちづくり推進課	
⑦公営住宅	市営住宅	建設課	市営住宅等長寿命化計画 (R2.3)
⑧上下水道施設			

## 【インフラ施設系】

インフラ施設の類型	対象施設	所管課	既定計画
①道路	道路舗装	建設課	【未着手】
②橋梁	橋梁	建設課	橋梁長寿命化修繕計画 (R3.3)
③水道施設	水道事業（水道管路、浄水場、配水池）	水道課	水道事業経営戦略 (H29.3)
④下水道施設	公共下水道（管路施設、処理場・ポンプ場施設）	下水道課	汚水処理施設修繕・改築計画 下水道ストックマネジメント計画 (R4.3)
⑤農業集落排水	農業集落排水		農業集落排水施設最適整備構想 (R3.2)

### （２）公共施設維持管理に関する現状の整理

（１）の資料をもとに、公共施設の修繕・改修や管理運営コスト、長寿命化・耐震化等の現状、目標使用年次等について一覧（→[資料編](#)）を作成し、現在のトータルコストを整理しています。

---

※なお、道路については既定計画がないため、道路所管課において今後のコストを算出し、そのコストを用いて対応しています。（→[本資料 20 ページ](#)を参照のこと）

### (3) 公共施設の利用状況等調査

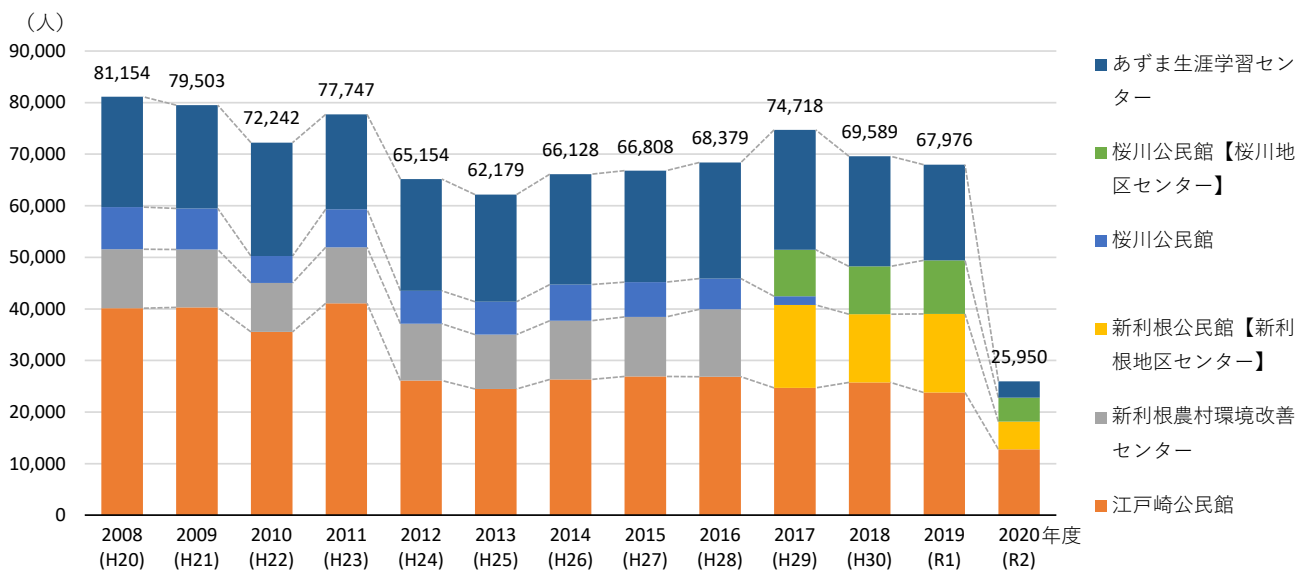
社会教育施設等について、各施設の利用者数等の動向を整理します。

#### ① 公民館等の利用状況

公民館等の利用状況について、平成20年度から令和元年度ごろまでの動向をみると、平成29年度に桜川公民館（桜川地区センター）と新利根公民館（新利根地区センター）がオープンし、江戸崎公民館やあずま生涯学習センターでは利用者が減少傾向にあったものの、公民館全体での利用状況は回復傾向がみられます。

一方で、令和元年12月頃に新型コロナウイルスが発生し、令和2年度からコロナ禍に突入したことで、令和2年度の利用者数は10年前の1/3程度まで減少しています。

【公民館等の利用状況】



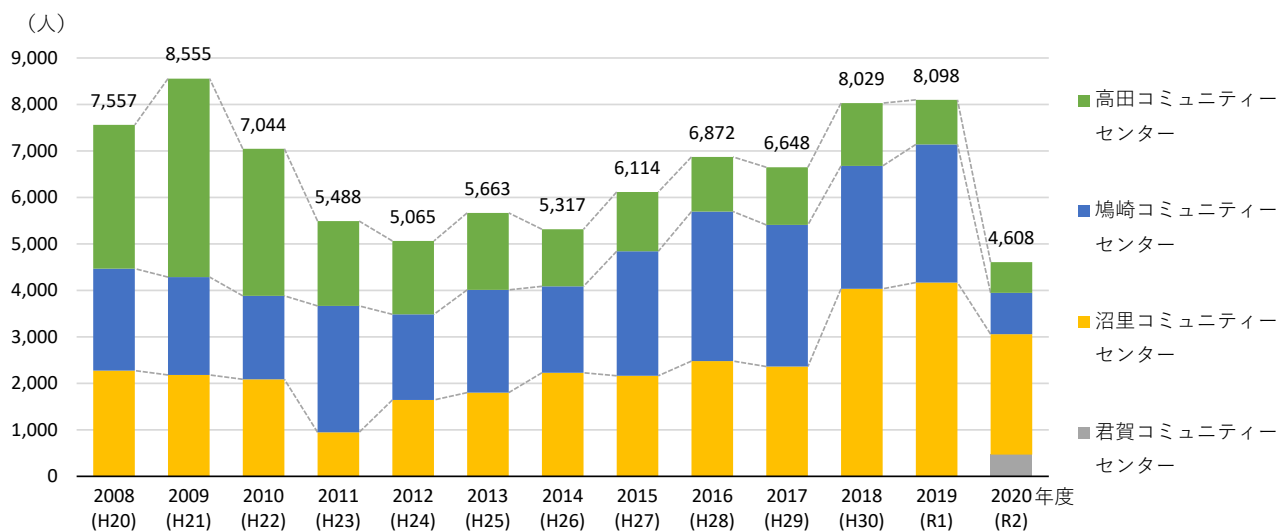
資料) 各公民館等

## ②コミュニティセンターの利用状況

コミュニティセンターの利用状況を見ると、平成30年度以降は沼里コミュニティセンターでの利用者数が上昇し、コミュニティセンター全体の利用者数は10年ほど前の状況に回復しつつありましたが、令和2年度からのコロナ禍で、利用者数はおよそ半分にまで減少しています。

なお、高田コミュニティセンターは、平日の午後は学童保育で利用している状況です。

### 【コミュニティセンターの利用状況】

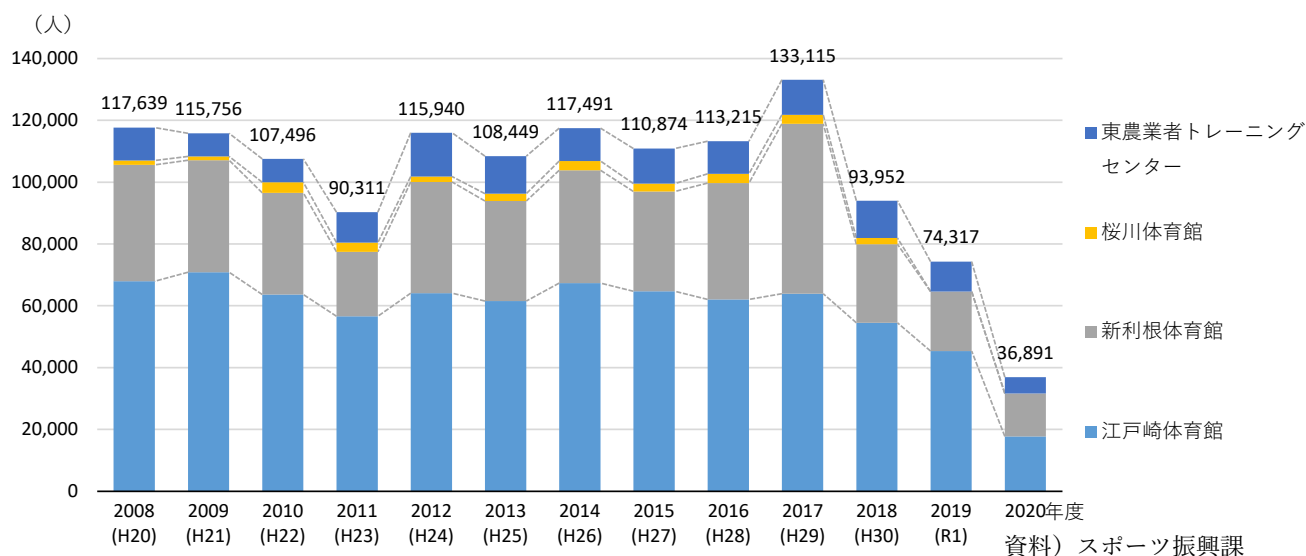


資料) 江戸崎公民館

## ③体育館の利用状況

体育館の利用状況を見ると、平成29年度に新利根体育館での利用者数が伸び、体育館全体の利用者数が一時増加したものの、平成30年度以降は体育館全体の利用者数が年々減少しています。令和2年度はコロナ禍により、令和元年度からさらに半減しています。

### 【体育館の利用状況】



資料) スポーツ振興課

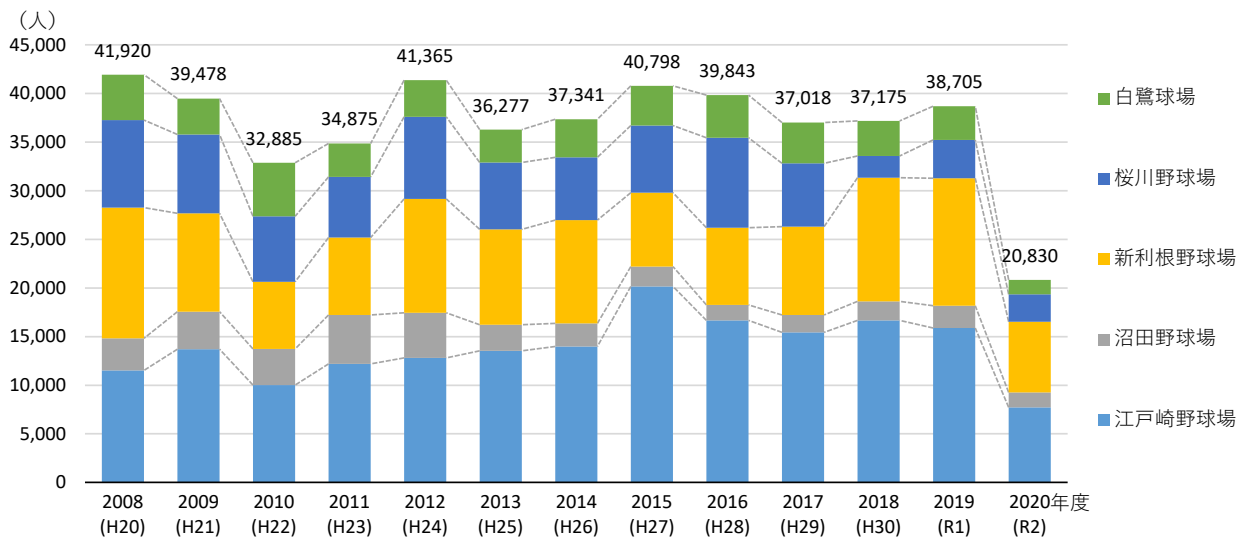


#### ④野球場の利用状況

野球場の利用状況をみると、全体では概ね横ばいとなっていますが、その内訳をみると、桜川野球場の利用者数が平成30年度ごろから減少し、代わって新利根野球場の利用が伸びています。

令和2年度はコロナ禍により、他施設と同様に利用者数が半減しています。

【野球場の利用状況】



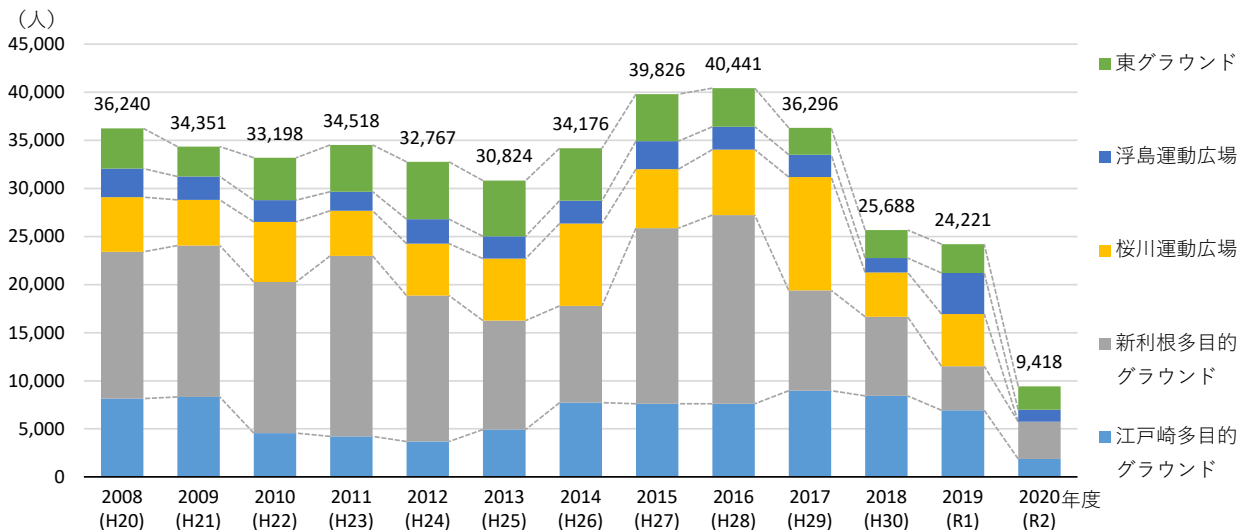
資料) スポーツ振興課

#### ⑤多目的グラウンドの利用状況

多目的グラウンドの利用状況をみると、平成28年度をピークに平成29年度以降は年々減少しています。特に新利根多目的グラウンドでは平成29年度以降大幅に利用者が減少しており、桜川運動広場は平成29年度に利用者が倍増したものの、平成30年度以降は減少しています。

令和2年度はコロナ禍により、他施設と同様に全体の利用者数が半減しています。

【多目的グラウンドの利用状況】

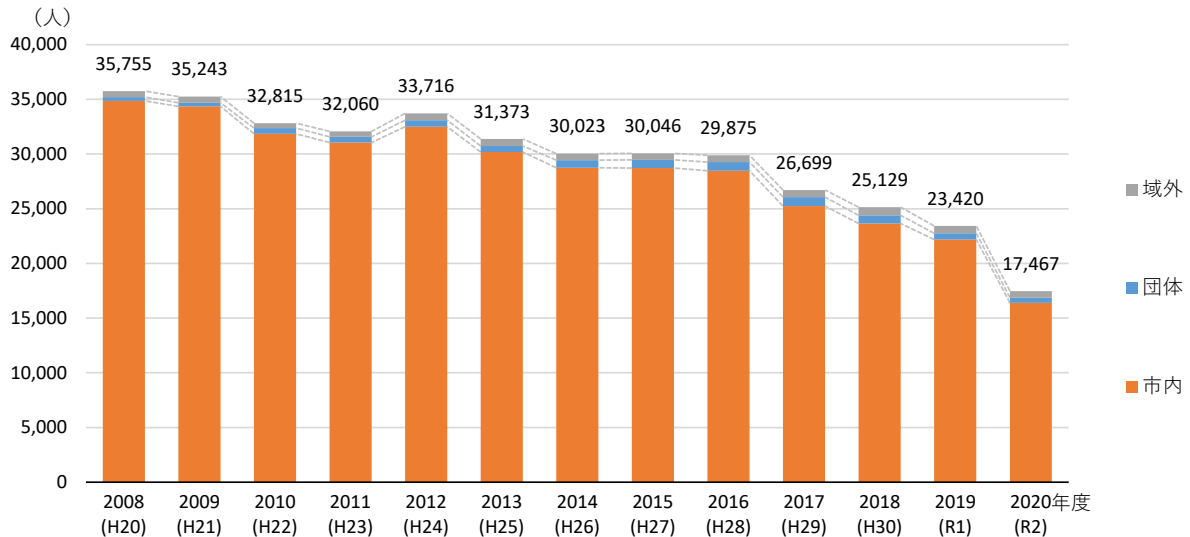


資料) スポーツ振興課

## ⑥図書館等の利用状況

図書館等の利用状況をみると、10年ほど前から利用者数は年々減少し、コロナ禍前の令和元年度でも平成21年度の2/3程度まで減少しています。特に、域外（市外）からの利用が少しずつ増えている一方で、市内の利用者が年々減少しています。

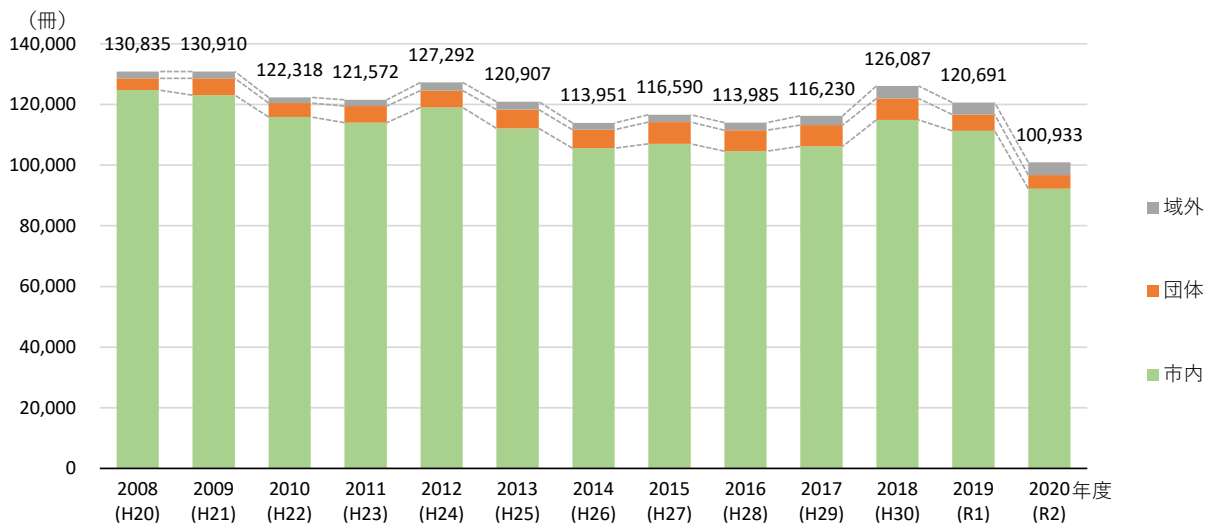
### 【図書館等の利用状況】



資料) 図書館

図書館の貸出冊数の状況をみると、令和元年度までは概ね横ばいで推移しています。令和2年度はコロナ禍により、貸出冊数が若干減少しています。

### 【図書館の貸出冊数】

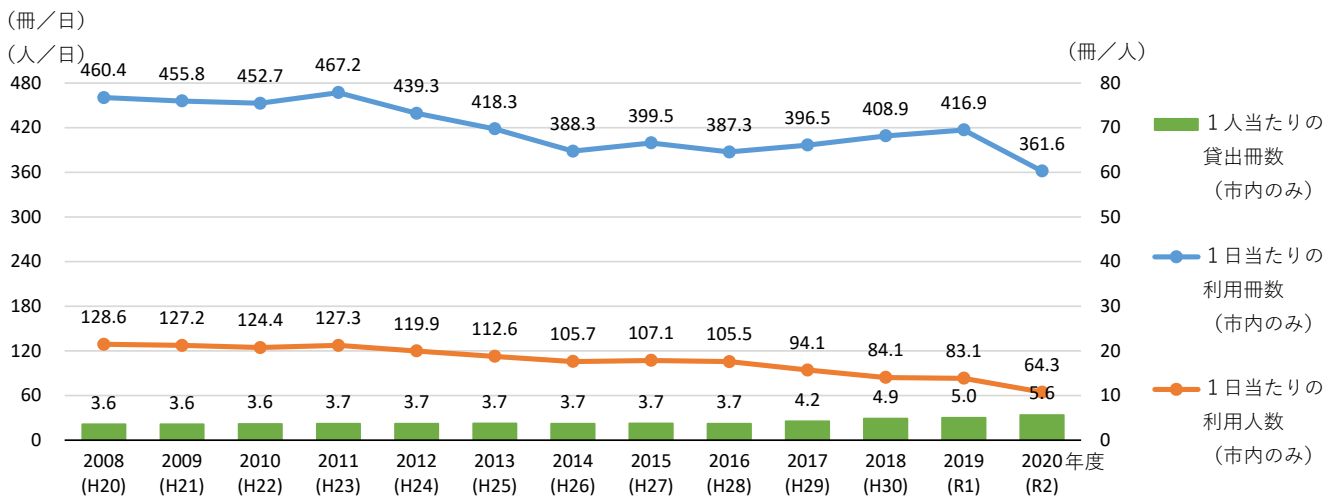


資料) 図書館

図書館等の1日当たり、1人当たりの利用状況（市内のみ）をみると、コロナ前の令和元年度の1日当たり利用人数は10年前の2/3にまで減少しているものの、1日当たりの利用冊数は416.9冊で回復傾向にあったことがうかがえます。

1人当たりの貸出冊数は年々増加し、10年前の1.5倍となっています。

### 【図書館等の1日当たり、1人当たりの利用状況（市内のみ）】

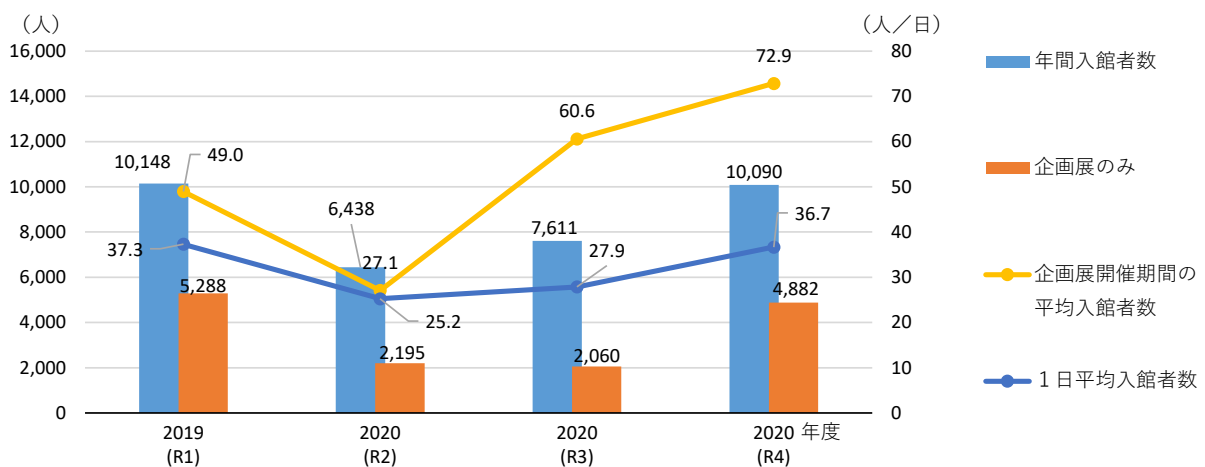


資料) 図書館

### ⑦歴史民俗資料館の利用状況

歴史民俗資料館のここ数年の利用状況をみると、令和2年度からコロナ禍で一時利用者数が減少してはいるものの、令和4年度は利用状況が回復しつつあります。特に企画展の開催期間中には1日平均70人以上が訪れています。

### 【歴史民俗資料館の利用状況】



資料) 図書館

#### (4) 公共施設へのヒアリング結果の概要

社会教育施設等については、現状に関するヒアリング調査を実施しました。

##### ①実施内容

###### 【実施対象施設】 3月28日～ 実施

- ・江戸崎中央公民館（生涯学習課）
- ・新利根公民館
- ・桜川公民館
- ・あずま生涯学習センター
- ・江戸崎総合運動公園（スポーツ振興課）
- ・図書館、歴史民俗資料館

###### 【ヒアリングの内容】

- ・年間の利用状況及びその変化
- ・利用者の主な属性
- ・イベント、講座等の開催状況
- ・施設の課題等について

##### ②ヒアリング結果の概要（まとめ）

###### 【公民館等について】

- コロナ禍の影響は、令和元年度末～3年度頃。4年度は回復しつつある。
- 文化協会の所属団体が主に利用しているが、高齢化が進んでおり、解散している団体もある。生涯学習講座や公民館講座で実施した同好会が文化協会に入るという流れはあるが、数人の前期高齢者が新規で入るとするのは難しい。また、文化協会に所属している団体の部屋の利用は無料で、冷暖房費は部屋代の3割のみ負担としている。このため、利用団体のほとんどは文化協会に所属している。
- 桜川公民館や新利根公民館では、公民館運営企画委員会があり、子どもの親等を取り込んで、プロジェクトを組んでいる。
- 地区公民館については、地区にあって地域の人が集まる場、地域をつくるという意識が未だに続いており、特に高齢の方は旧町村意識が強い。このため、5年、10年すれば意識も変わる可能性はある。
- 桜川公民館では、次の世代、子どもと親子を中心にして企画を考え、若年層の参加促進や世代間の交流促進等を積極的に行っている。学校の保護者がPTAの会議等で使う場合もある。公民館のスタッフは少人数だが、地域の方々と協力して運営を行っており、地域の子どもたちも自然に立ち寄るような環境が出来つつある。
- 新利根公民館では、地区センターの機能も担っているため、相談業務等の負担が大きくデジタル化によりマルチコピー機等での対応へのシフトといったものも必要になってきている。施設の維持・補修・メンテナンスが大きな課題。
- あずま生涯学習センターでは、パソコン教室に関する問い合わせが多い。市全体でも、スマートフォン操作といった講座は人気がある。

### 【コミュニティセンターについて】

- コミュニティセンターの活用は、主に地区の避難所と選挙の投票所である。学校が廃校になっているため、代替えがきかないと思うが、利用人数は少ないと思われる。

### 【ホールについて】

- 江戸崎中央公民館、あずま生涯学習センター等のホールについては、営利目的のイベント会場として使用することはできない。公民館法を外して市民会館とし、有料の興行ができるように活用することは考えられるが、収容人数や設備の老朽化といった課題がある。
- 江戸崎では客席を固定化したがるが、緞帳がないことや音響が課題。あずまでは音響もよく可動式の客席だが、メンテナンスの負担が大きいほか、ホールの設備を動かせる知識のある人材が限られ、設備自体を動かすソフトウェアも古いままとなっている。客席の固定化や設備の更新など、財政的な面だけでなく安全性も含めて検討が必要な時期に来ている。

### 【体育施設等について】

- 体育施設も公民館と同様に、スポーツ少年団等の決まった団体が主に利用している。スポーツ少年団等の場合、使用料は無料で、照明代は有料だが半分に減免している。江戸崎は利用者が多いが、東・桜川は自営や農家が多いので、高齢者の利用が少ない。
- 学校体育施設の開放も行っているが、学校教育に支障がない時に使うという条件になっている。
- 市外からの利用では、阿見町・河内町・美浦村と協定を結んでいるので、利用者がこれらの町村の住民・団体場合は市内料金となる。次年度から予約システムを導入するので、実態としてはもう少し明確になる。
- 年間で大会等もいくつか予定されているが、実態が把握しにくく、整理が必要。

### 【図書館・資料館について】

- コロナ禍で貸出期間を3週間、一人15冊までとしたため、利用者は減ったが、貸出冊数は増えている。団体では、学校の施設や介護施設などに貸し出している。近年は、小中学生もタブレットを持っているので、電子図書館の利用が増加している。
- 広域では、阿見町・河内町・美浦村の方への貸出が可能。図書館は域外の人利用をやめたとしても、経費が下がるわけではなく、蔵書の数を減らすということでもない。
- 映画会を実施すると、70~80人の高齢者や子どもが来ることがある。家でも配信等で見られるものだが、大人の場合は、コロナ禍で制限されていたこともあり、集まれるイベントを求めている。
- 人の集まりやすい市の中心や幹線道路沿いに立地していれば、より多くの方が利用するだろう。
- 資料館の場合は、立地的な条件は特に問わない。むしろ収蔵のスペースが必要。特定の人々が主なターゲットなので、企画展などのイベントがあると遠方からも人が来る。その他は、県の博物館のスタンプラリーや大杉神社の来訪者が立ち寄るなど。

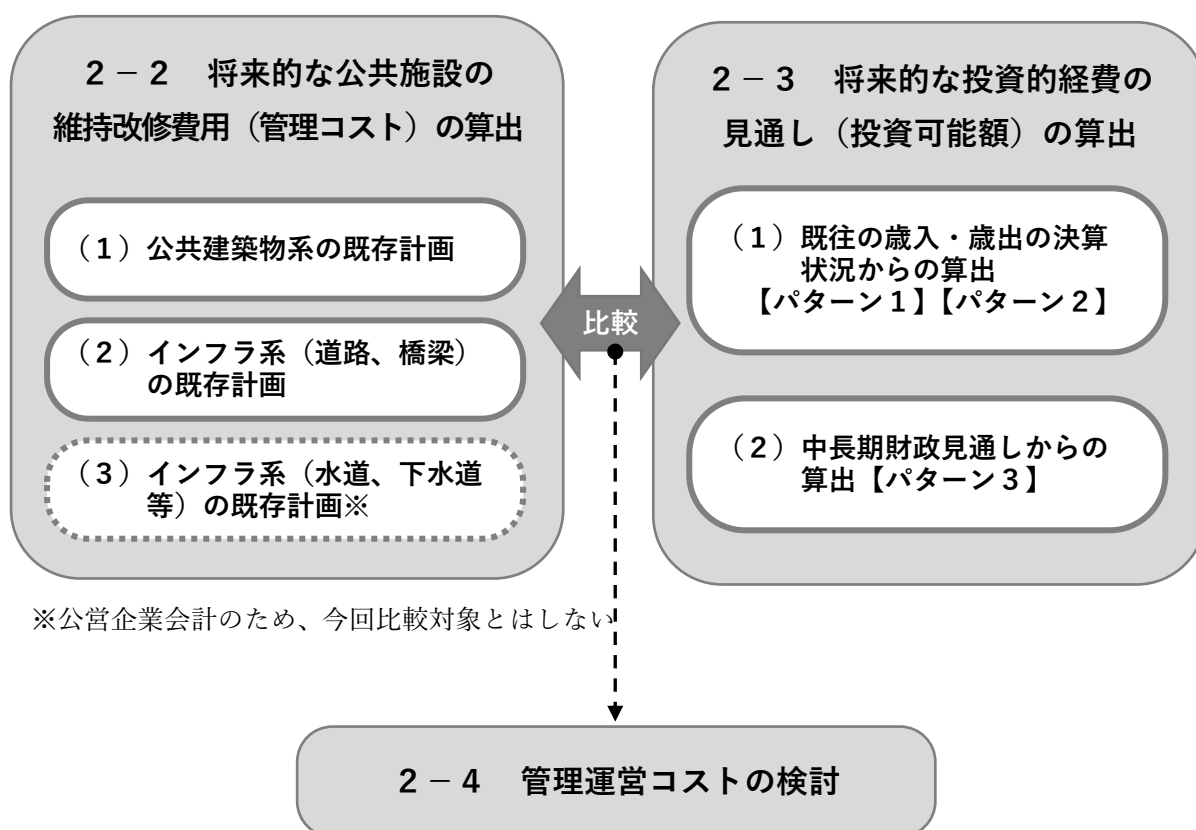
## 2. 公共施設に関するコストの可視化

### 2-1 基本的な考え方

基本的な考え方として、各既存計画から将来的な公共施設の維持改修費用（管理コスト）を算出します。

次に、既往の歳入・歳出の決算状況と、中長期財政見通しから、それぞれ将来的な投資的経費の見通し（投資可能額）を算出し、最後に、管理コストと投資可能額を比較して、管理運営コストの検討を行うものとします。

#### 【コストの可視化の基本的な考え方】



## 2-2 将来的な公共施設の維持改修費用（管理コスト）の算出

### (1) 既存計画における公共施設改修費等の費用

「公共施設に関する現況調査」をもとに、現在、各分野の既存計画で示されている長寿命化等のための改修費用を集計します。

#### ①公共建築物系の既存計画

公共建築物系の既存計画では、【期間Ⅰ】で約49億円、【期間Ⅱ】で約19億円の改修等が計画されています。

#### 【①公共建築物系の既存計画における改修費等】

(単位：億円)

計画期間	参考		前期【期間Ⅰ】				後期【期間Ⅱ】			
	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13
保有施設保全計画 2021~2030	4.9	5.5	5.0	0.8	3.7	5.3	4.5	0.0	0.5	3.9
スポーツ施設個別計画 2022~2051	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
学校長寿命化計画 2019~2028	7.9	8.6	7.7	8.6	8.1	4.8	4.9	-	-	-
市営住宅長寿命化計画 2020~2029	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.0
計（公共建築物の改修費等）	14.0	15.3	13.9	10.7	13.0	11.3	10.8	1.4	2.0	5.0

出典）各計画書より算出

#### ※備考：

- ・保有施設保全計画： 2031年度は周期と単価から本調査独自に記入
- ・スポーツ施設個別計画： 計画書はトータルコストのみ。年度毎の事業費は要確認
- ・学校長寿命化計画： 2029年度以降計画なし
- ・市営住宅長寿命化計画： 2050まで長期修繕計画あり

計画期間	参考	【期間Ⅰ】	【期間Ⅱ】
保有施設保全計画 2021~2030	10.4億円/2年 (35.7%)	14.7億円/4年 (30.1%)	8.9億円/4年 (46.4%)
スポーツ施設個別計画 2022~2051	2.3億円/2年 (7.9%)	4.6億円/4年 (9.4%)	4.6億円/4年 (24.0%)
学校長寿命化計画 2019~2028	16.5億円/2年 (56.3%)	29.1億円/4年 (59.4%)	4.9億円/4年 (25.6%)
市営住宅長寿命化計画 2020~2029	0.0億円/2年 (0.2%)	0.6億円/4年 (1.1%)	0.8億円/4年 (4.0%)
計（公共建築物の改修費等）	29.3億円/2年 (100.0%)	49.0億円/4年 (100.0%)	19.2億円/4年 (100.0%)

## ②インフラ系（道路、橋梁）の既存計画

インフラ系施設には、道路、橋梁、上下水道等があります。

そこで、まずは道路、橋梁の改修費用の見通しを集計します。

ただし、橋梁には長寿命化計画があるものの、道路については、幹線道路以外の市道の維持管理計画は未策定のため、現在の道路延長を踏まえて、現状の施設を定期的に更新した場合を検討します。

## ■市道に関する更新費用（暫定）

市道の現況の実延長、面積を踏まえて、次のように仮定します。

### 【市道更新費用の算定方法】

	工種	舗装更新単価 (千円/m <sup>2</sup> ) 経費込	舗装更新単価 (千円/km)
1級市道	切削オーバーレイ	7.8	47,166.289
2級市道	切削オーバーレイ	7.8	43,378.360
その他市道	舗装打ち換え	8.0	32,104.556
	敷砂利	1.0	4,010.516

道路区分	細区分	実延長 (km)	面積 (m <sup>2</sup> )	舗装更新 頻度 (年)	単年当 たり 舗装更新 延長 (km) ③ =①/②	舗装更新 単価 (千円 /km) ④	単年当 たり更新費 用 (千円) ⑤ =③×④	
		①		②				
1級路線		107.9	652,467	20	5.395	47,166	254,461	
2級路線		65.5	364,267	30	2.183	43,378	94,709	
その他路線	舗装	幹線	41.7	167,345	50	0.834	32,104	26,775
		その他	931.4	3,737,780	100	9.314	32,104	299,017
	未舗装	743.6	2,982,220	50	14.872	4,010	59,637	
合計		1890.1	7,904,079				734,597	

※未舗装分については、砂利補充等にかかる費用を計上



インフラ系（道路、橋梁）の既存計画では、【期間Ⅰ】で約32億円、【期間Ⅱ】で約31億円の改修等が見込まれます。

【②インフラ系（道路、橋梁）の既存計画における改修費等】

（単位：億円）

計画期間	参考		前期【期間Ⅰ】				後期【期間Ⅱ】			
	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13
市道に関する更新費 2022~2031	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
橋梁長寿命化計画 2021~2030	1.6	0.0	0.6	0.4	0.9	0.9	0.2	0.5	0.6	—
計（道路、橋梁の改修費等）	9.0	7.4	7.9	7.8	8.2	8.2	7.6	7.9	7.9	7.3

出典）各計画書より算出

※備考：

- ・市道に関する更新費： 本計画における独自試算（前頁参照）
- ・橋梁長寿命化計画： 改修の対象とされる施設のみ。その他、点検費・維持管理費の計上。

計画期間	参考	【期間Ⅰ】	【期間Ⅱ】
市道に関する更新費 2022~2031	14.7 億円/2年 (89.7%)	29.4 億円/4年 (91.5%)	29.4 億円/4年 (95.7%)
橋梁長寿命化計画 2021~2030	1.7 億円/2年 (10.3%)	2.7 億円/4年 (8.5%)	1.3 億円/4年 (4.3%)
計（道路、橋梁の改修費等）	16.4 億円/2年 (100.0%)	32.1 億円/4年 (100.0%)	30.7 億円/4年 (100.0%)

### ③インフラ系（水道、下水道等）の既存計画

また、公営企業の会計となる道路、橋梁以外のインフラ系（水道、下水道等）の既存計画では、【期間Ⅰ】で約41億円、【期間Ⅱ】で約21億円の改修等が見込まれます。

### 【③インフラ系（水道、下水道等）の既存計画における改修費等】

（単位：億円）

計画期間	参考		前期【期間Ⅰ】				後期【期間Ⅱ】			
	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13
水道事業経営戦略 2017~2029	1.7	2.2	2.4	2.2	1.6	1.7	2.6	2.3	-	-
下水道ストック マネジメント計画 2022~2026	0.8	0.1	4.0	4.4	3.9	-	-	-	-	-
農業集落排水施設 最適整備構想 2021~2060	6.9	6.4	6.9	7.7	6.2	5.4	4.6	2.0	4.7	4.9
計（水道、下水道等の改修費等）	9.1	8.7	11.4	12.6	9.7	7.1	7.2	4.3	4.7	4.9

出典）各計画書より算出

※備考：

- ・水道事業経営戦略：投資（構築物及び設備、管路の更新）の見通しを計上。
- ・下水道ストックマネジメント計画：内訳は汚水処理施設修繕・改築計画から計上。
- ・農業集落排水施設最適整備構想：管路施設・汚水処理施設の更新を計上。

計画期間	参考	【期間Ⅰ】	【期間Ⅱ】
水道事業経営戦略 2017~2029	3.9億円/2年 (22.6%)	8.0億円/4年 (18.9%)	4.9億円/4年 (29.7%)
下水道ストック マネジメント計画 2022~2026	0.9億円/2年 (5.1%)	12.3億円/4年 (29.1%)	0.0億円/4年 (0.0%)
農業集落排水施設 最適整備構想 2021~2060	12.6億円/2年 (72.3%)	22.1億円/4年 (52.1%)	11.5億円/4年 (70.3%)
計（水道、下水道等の改修費等）	17.4億円/2年 (100.0%)	42.4億円/4年 (100.0%)	16.4億円/4年 (100.0%)

#### ④既存計画における公共施設改修費等の費用の合計

①と②より、公営企業の会計となる水道、下水道以外の既存計画において、公共施設改修費等の合計を求めると、現時点では【期間Ⅰ】の計画で約81億円、【期間Ⅱ】の計画で約50億円の改修等が見込まれています。

また、年平均の費用を比較すると、【期間Ⅰ】で20.3億円、【期間Ⅱ】で12.5億円となりますが、【期間Ⅱ】については、未計画のものもあるという点に注意が必要です。

#### 【④既存計画における公共施設改修費等の費用の合計】

(単位：億円)

	参考	【期間Ⅰ】	【期間Ⅱ】
	2022～2023 (R4～R5)	2024～2027 (R6～R9)	2028～2031 (R10～R13)
①公共建築系の既存計画における改修費等の合計	29.3億円/2年	49.0億円/4年	19.2億円/4年
②インフラ系（道路、橋梁）の既存計画における改修費等の合計	16.4億円/2年	32.1億円/4年	30.7億円/4年
既存計画における公共施設改修費等の費用（①と②の合計）	45.6億円/2年	81.1億円/4年	49.9億円/4年
（年平均）	(22.8億円/年)	(20.3億円/年)	(12.5億円/年)

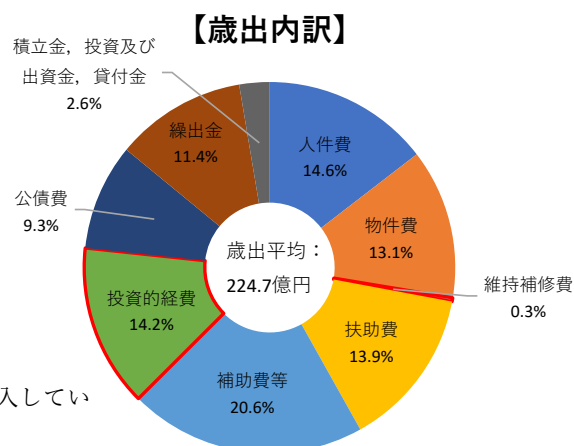
(※③の公営企業の会計となる水道、下水道は除く)

## 2-3 将来的な投資的経費の見通し（投資可能額）の算出

### (1) 既往の歳入・歳出の決算状況からの算出

「市町村決算カード」をもとに、直近8年間の歳入・歳出状況を整理すると、歳入は平均236.3億円程度、歳出は平均224.7億円程度となっています。歳出のうち、維持補修費は平均0.7億円(0.3%)、投資的経費(公共施設等の建設・用地取得の経費等)は平均31.8億円(14.2%)となっています。

※本項の表・グラフの数値については、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の総和が合計値と合わないことがあります。



### 【稲敷市の歳入】

(単位：億円)

	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	計	平均	割合
市税	50.3	48.9	50.9	52.7	53.1	52.8	52.5	51.7	413.0	51.6	21.8%
地方交付税	66.2	65.7	64.0	62.5	60.1	65.5	74.6	68.9	527.5	65.9	27.9%
その他一般財源	11.9	15.4	14.0	14.7	15.2	15.1	16.3	18.8	121.4	15.2	6.4%
地方債	30.9	52.9	23.7	19.5	21.6	19.2	27.0	18.2	213.1	26.6	11.3%
国庫支出金	20.8	20.7	21.0	18.5	18.1	20.8	73.4	36.1	229.4	28.7	12.1%
県支出金	11.1	14.7	13.6	14.5	13.5	13.5	16.3	22.1	119.3	14.9	6.3%
その他特定財源	28.3	25.2	30.3	31.9	38.7	35.8	37.2	39.1	266.5	33.3	14.1%
計	219.6	243.6	217.5	214.4	220.1	222.8	297.3	254.9	1,890.3	236.3	100.0%

### 【稲敷市の歳出】

(単位：億円)

	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	計	平均	割合
人件費	33.1	33.0	32.8	33.1	32.0	32.5	32.4	32.6	261.5	32.7	14.6%
物件費	23.5	24.7	26.6	30.8	32.7	29.2	33.3	34.0	234.7	29.3	13.1%
維持補修費	1.1	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.6	0.5	5.9	0.7	0.3%
扶助費	29.2	29.6	31.9	29.0	30.7	31.1	31.2	37.9	250.6	31.3	13.9%
補助費等	29.9	33.6	31.1	30.8	29.7	46.6	103.0	66.1	370.9	46.4	20.6%
投資的経費	43.3	59.7	29.3	25.5	27.8	24.1	31.0	14.0	254.6	31.8	14.2%
公債費	15.2	16.1	17.9	20.0	22.5	23.9	24.9	26.0	166.6	20.8	9.3%
繰出金	27.0	29.4	28.3	27.7	33.1	19.5	17.2	22.8	205.1	25.6	11.4%
積立金、投資及び出資金、貸付金	3.9	5.3	10.5	7.4	2.8	4.2	6.1	7.2	47.4	5.9	2.6%
計	206.1	232.3	209.2	205.2	212.0	211.7	279.6	241.1	1,797.3	224.7	100.0%

資料) 決算カード

### ■実績値からの投資的経費の推計【パターンA-1】

さらに、直近8年間の投資的経費の推移をみると、投資的経費の平均は31.8億円で、このうち、普通建設事業費の平均が31.2億円(98.1%)、災害復旧事業費が0.6億円(1.9%)であり、そのほとんどが普通建設事業費となっています。

本調査では、今後、公共施設の改修等のために活用可能なコストの概算を算出するにあたり、投資的経費の平均値を、将来の投資的経費の推計値【パターンA-1】とします。

#### 【投資的経費の内訳】

(単位：億円)

		2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	計	平均	割合
投資的経費		43.3	59.7	29.3	25.5	27.8	24.1	31.0	14.0	254.6	31.8	100.0%
内 訳	普通建設 事業費	41.2	59.7	29.3	25.5	27.8	22.6	29.8	14.0	249.9	31.2	98.1%
	災害復旧 事業費	2.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	4.7	0.6	1.9%
	失業対策 事業費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### ■平準化からの投資的経費の推計【パターンA-2】

ただし、投資可能なコストを算出するにあたっては、大規模な建設事業等の臨時な投資的経費の影響を考慮する必要も考えられます。

この8年間を振り返ると、東日本大震災以降、各年度に統合小学校の建設、新庁舎の建設といった大規模な建設事業が発生しています。そこで、投資的経費のうち、これらの特異的な投資的経費を控除し、平準化した投資的経費と歳出総額を算出し、比較してみることとします。

すると、平準化した場合の投資的経費は平均16.2億円で、平準化しない場合の平均31.8億円の約半分となり、これを将来の投資的経費の推計値【パターンA-2】とします。

#### 【投資的経費の平準化】

	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	平均	
投資的経費 (①)	43.3	59.7	29.3	25.5	27.8	24.1	31.0	14.0	31.8	
臨時な 投資的経費 (②)	24.1	43.3	10.6	6.5	10.1	10.7	16.1	3.8	15.6	統合小学校の建設、 新庁舎の建設等
平準化した 投資的経費 (③)	19.1	16.4	18.7	19.1	17.8	13.4	14.8	10.2	16.2	①-②

【実績(A)と平準化(C)の平均比較】

(単位：億円)

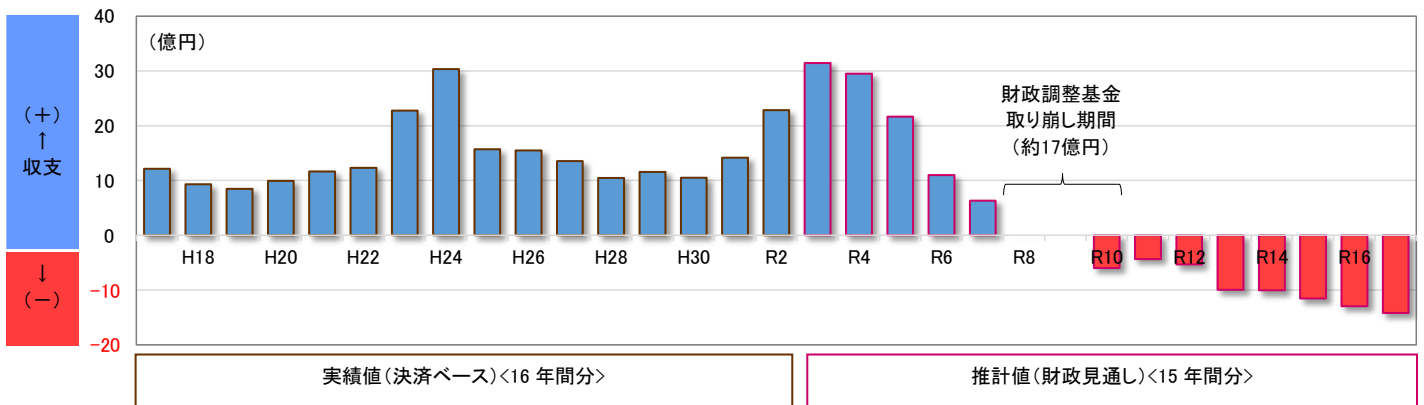
	★パターンA-1： 投資可能額＝実績		★パターンA-2： 投資可能額＝平準化	
	平均	割合	平均	割合
人件費	32.7	14.6%	32.7	15.6%
物件費	29.3	13.1%	29.3	14.0%
維持補修費	0.7	0.3%	0.7	0.4%
扶助費	31.3	13.9%	31.3	15.0%
補助費等	46.4	20.6%	46.4	22.2%
投資的経費	31.8	14.2%	16.2	7.7%
公債費	20.8	9.3%	20.8	10.0%
繰出金	25.6	11.4%	25.6	12.3%
積立金、投資及び出資金、貸付金	5.9	2.6%	5.9	2.8%
歳出総額 ※パターンA-2：控除後の合計	224.7	100.0%	209.0	100.0%

## (2) 中長期財政見通しからの算出

「稲敷市財政見通し（令和4年度版）」では、2005（H17）年度から2020（R2）年度までの16年間の歳入・歳出の推移と、今後の15年間の歳入・歳出の財政見通しを示しています。

これによると、「令和7年度までは、大規模な建設事業を加えても、“歳入超過”という状況」であるものの、「令和8年度より財政調整基金の取り崩しを行っても、令和10年度からは収支がマイナスに転じ、令和13年度頃から10億円以上の“財源不足”」となることが懸念されています。

### 【これまでの決算と今後の財政見通しによる歳入・歳出の収支（歳入－歳出）】

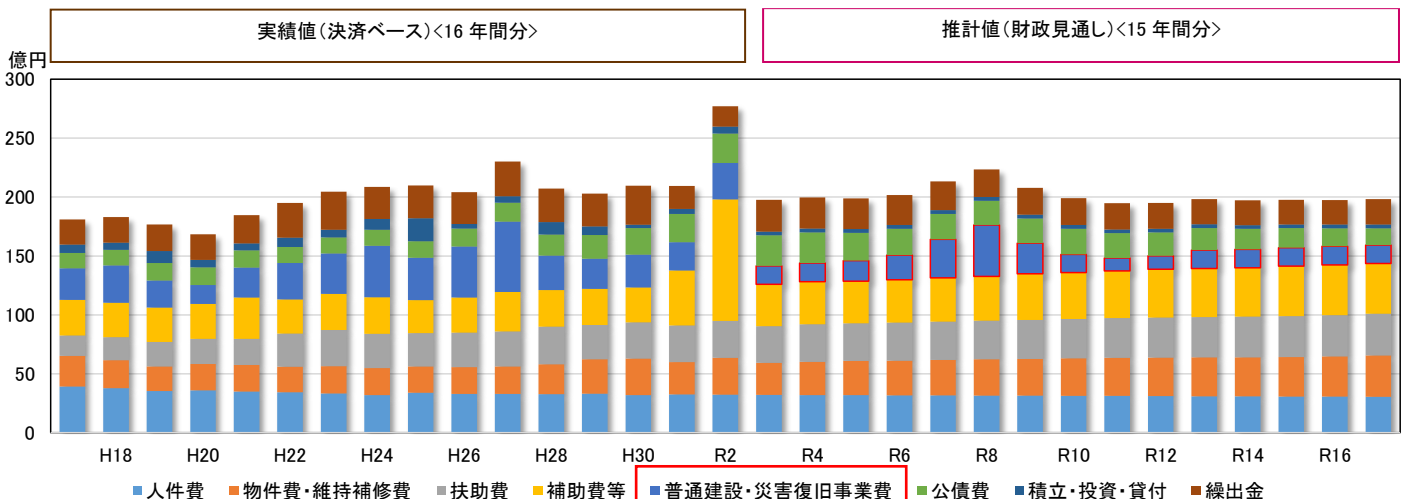


資料)「稲敷市財政見通し（令和4年度版）」

### ■ 財政見通しからの投資的経費の推計【パターンB】

また、歳出及び投資的経費（普通建設・災害復旧事業費）の見通しについては、「投資的経費として、各担当課等での取組が予定されている事業（給食センターの建設、東地区小学校の統合、東地区幼稚園の統合、桜川地区こども園の建設、教育センターの更新、市東部地区防災センターの建設など）を加え、想定できる国庫補助や合併特例債、また、実施などの時期については、担当課等へのヒアリング結果を用い算出」していることから、より現実に即した投資的経費の推計値【パターンB】が考えられます。

### 【歳出及び投資的経費の見通し】



資料)「稲敷市財政見通し（令和4年度版）」

投資的経費

### (3) 将来の投資可能額の設定

(1)(2)の結果から、パターンA-1、A-2、パターンBの投資的経費の推計は、それぞれ以下のようになります。

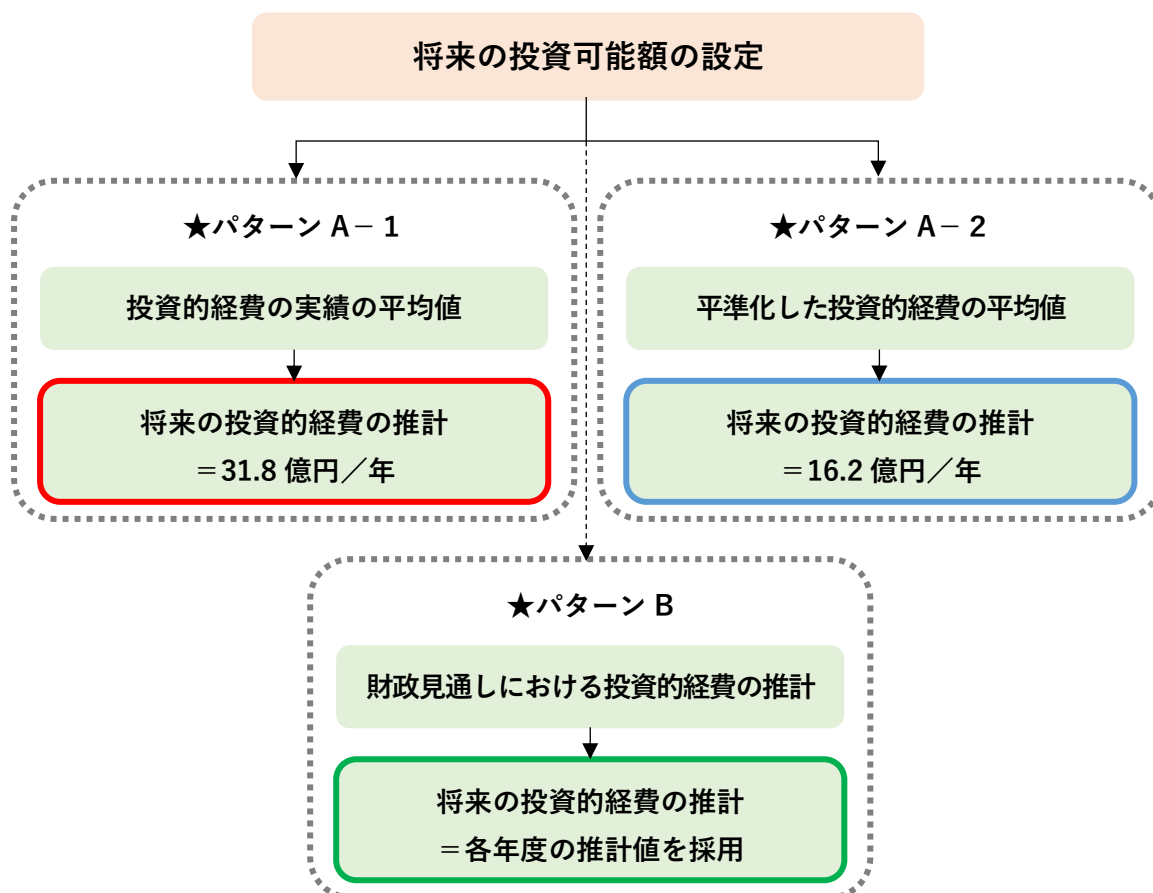
#### 【投資的経費の推計（まとめ）】

(単位：億円)

	参考		前期【期間Ⅰ】				後期【期間Ⅱ】			
	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13
★パターンA-1 ：実績平均	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
	63.6		127.3				127.3			
★パターンA-2 ：平準化	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2
	32.4		64.7				64.7			
★パターンB ：財政見通し	15.8	17.4	20.9	32.7	43.6	26.1	15.4	10.9	11.4	15.7
	33.2		123.3				53.4			

そこで、ここからは将来の投資可能額を、下記のような3パターンとして設定します。

#### 【将来の投資可能額の設定】





## 2-4 管理運営コストの検討

### ★パターン A-1：投資可能額（実績値）と管理コストの比較

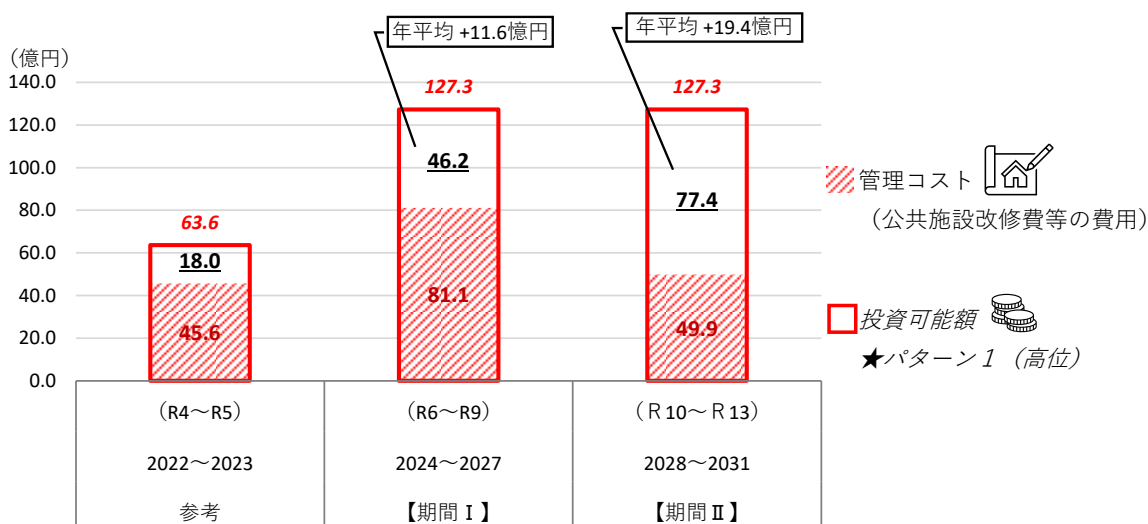
ここで、「2-3 将来的な投資的経費の見通し（投資可能額）の算出」と「2-2 将来的な公共施設の維持改修費用（管理コスト）の算出」を比較します。

パターン A-1 の将来の投資可能額と比較した場合、【期間 I】では投資可能額が管理コストを約 46.2 億円（年平均 11.6 億円）上回っています。さらに【期間 II】の計画は約 77.4 億円（年平均 19.4 億円）上回っており、「従来の実績値を投資水準として考えた場合、既存計画では長寿命化等により適切にコスト削減した計画が立案されていると考えられます。

ただし、【期間 II】には未計画な分野があるため、これまでと同様に、積極的に長寿命化等の対策を進めていく必要があります。

### ★パターン A-1 【投資可能額と管理コストの差額】

	参考	【期間 I】	【期間 II】
	2022～2023 (R4～R5)	2024～2027 (R6～R9)	2028～2031 (R10～R13)
投資可能額 ★パターン A-1 (実績値)	63.6 億円/2年	127.3 億円/4年	127.3 億円/4年
管理コスト (公共施設改修費等の費用)	45.6 億円/2年	81.1 億円/4年	49.9 億円/4年
投資可能額と 管理コストの差額	+18.0 億円/2年	+46.2 億円/4年	+77.4 億円/4年
(年平均)	(+9.0 億円/年)	(+11.6 億円/年)	(+19.4 億円/年)



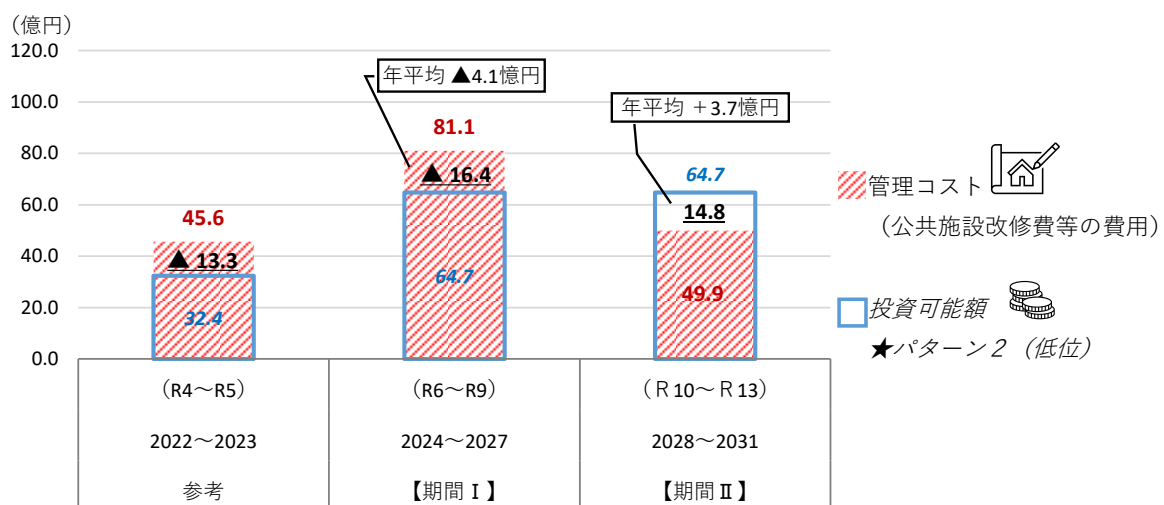
## ★パターン A-2：投資可能額（平準化）と管理コストの比較

パターン A-2 の将来の投資可能額と比較した場合、【期間 I】は投資可能額が管理コストを約 16.4 億円（年平均 4.1 億円）下回っています。【期間 II】の計画では、投資可能額が管理コストを約 14.8 億円（年平均 3.7 億円）上回っているものの、【期間 II】には未計画な分野があるため、計画を立案すれば差額はもっと小さくなるか管理コストが投資可能額を超過すると考えられます。

パターン A-2 は、投資可能額を平準化して推計しており、期間 I～期間 II の 8 年間に大きな建設事業等をしないとした場合には、【期間 I】の管理コストが、単年度毎に 4 億円程超過して計画されていると考えられます。

### ★パターン A-2 【投資可能額と管理コストの差額】

	参考	【期間 I】	【期間 II】
	2022～2023 (R4～R5)	2024～2027 (R6～R9)	2028～2031 (R10～R13)
投資可能額 ★パターン A-2 (平準化)	32.4 億円/2 年	64.7 億円/4 年	64.7 億円/4 年
管理コスト (公共施設改修費等の費用)	45.6 億円/2 年	81.1 億円/4 年	49.9 億円/4 年
投資可能額と 管理コストの差額	▲13.3 億円/2 年	▲16.4 億円/4 年	+14.8 億円/4 年
(年平均)	(▲6.6 億円/年)	(▲4.1 億円/年)	(+3.7 億円/年)



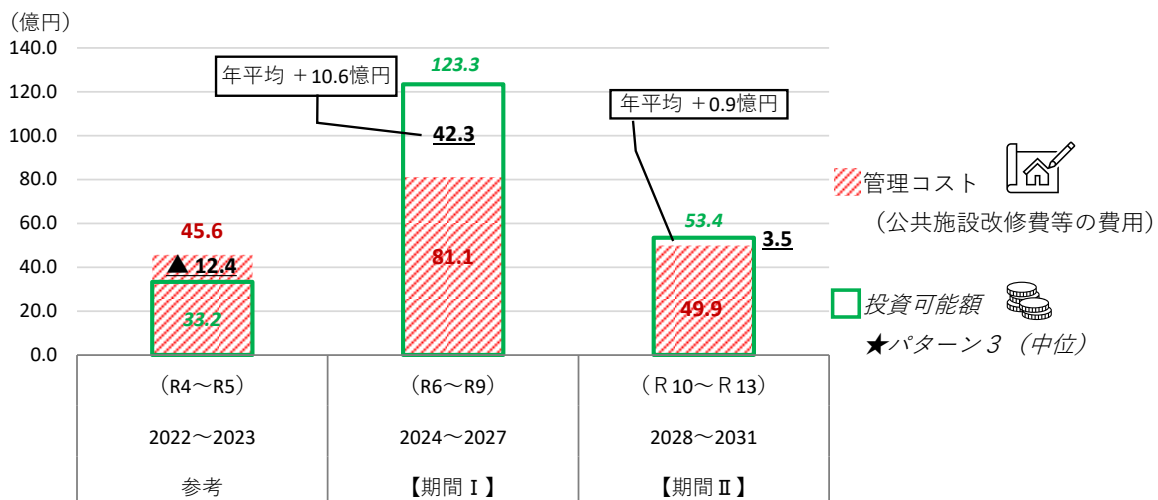
## ★パターンB：投資可能額（財政見通し）と管理コストの比較

パターンBの将来の投資可能額と比較した場合、【期間Ⅰ】は投資可能額が管理コストを約42.3億円（年平均10.6億円）上回っています。【期間Ⅱ】の計画でも、投資可能額が管理コストを約3.5億円（年平均0.9億円）上回っているものの、あまり大きな差はなくなっています。

パターンBは、投資可能額に初めから具体的に予定されている建設事業等を見込んでいるため、期間Ⅰで管理コストに対して投資可能額は十分余裕があるように見えますが、期間Ⅱのように今後の財政規模が縮小すると投資可能額に余裕はほとんどなくなり、改修等の事業や管理する規模を縮小していくか、もしくは別途財源を確保した上での計画と実施が必要になると考えられます。

### ★パターンB【投資可能額と管理コストの差額】

	参考	【期間Ⅰ】	【期間Ⅱ】
	2022～2023 (R4～R5)	2024～2027 (R6～R9)	2028～2031 (R10～R13)
投資可能額 ★パターンB (財政見通し)	33.2 億円/2年	123.3 億円/4年	53.4 億円/4年
管理コスト (公共施設改修費等の費用)	45.6 億円/2年	81.1 億円/4年	49.9 億円/4年
投資可能額と 管理コストとの差額	▲12.4 億円/2年	+42.3 億円/4年	+3.5 億円/4年
(年平均)	(▲6.2 億円/年)	(+10.6 億円/年)	(+0.9 億円/年)



### 3. 公共施設管理運営に関する課題の整理

#### (1) 公共施設の利用状況等からの分析

- ・ 社会教育施設等について近年の利用状況をみると、公民館等は、年度ごとに増減はあるものの、コロナ禍前までは概ね横ばいで推移しており、今後利用が減少しても、各地区の中核となる施設についてはある程度の利用は維持されていくと考えられます。
- ・ 一方で、体育館や多目的グラウンドといったスポーツ施設については、平成の終わり頃から利用者数が年々減少しており、コロナ禍もあってピーク時の1/3～1/4くらいまで利用者数が落ち込んでいます。また、図書館については、10年以上前から利用者数が年々縮小しており、今後は電子書籍等の導入が進むことで、図書館自体への来館者数は縮小していくことも考えられます。
- ・ このような状況を踏まえると、社会教育施設等については、公民館等の各地区の中核施設の機能は維持しつつ、その他の施設については、将来的には市全体で機能の集約化や複合化等を再検討していく時期に来ていることが考えられます。

#### (2) 公共施設ヒアリングからの分析

- ・ 公民館等については、文化協会の利用が主流となっており、団体の高齢化が進んでいるほか、ほとんど無料で活用されています。今後は桜川や新利根等の公民館での取組等をモデルとしながら、従来の利用だけでなく子育て世代をターゲットにした企画や、前期高齢者のデジタル化推進に向けた取組支援等、新たな視点での有効活用を模索していく必要があります。コミュニティセンターについては、まず役割や位置づけそのものを見直していくことも課題であると考えられます。
- ・ ホールについては、公民館法を前提としたものではなく、今後は営利目的での有効活用も視野に入れつつ、同時に、安全面等も考慮し、設備の更新を行うのか、費用のかかる可動式の客席を固定化するか等の整理に早めに取り組んでいくことが課題となっています。
- ・ 体育施設等については、予約システムの導入に合わせて、各団体や市外利用の実態をきちんと整理するとともに、その実態にあった利用の方向性を見直していくことが課題となっています。また、条例に当てはまらない施設に関しても同様に、利用実態を把握し、位置づけ等を見直していくことが必要です。
- ・ 図書館に関しては、書籍の電子化が進められてはいるものの、実際に本に触れて市民に有効に活用してもらうためには、現在の立地やアクセス等が課題と考えられます。一方、資料館に関しては、増え続ける収蔵ペースの確保や、将来的には資料のデータベース化等の必要性が考えられます。

### (3) 公共施設に関するコストの可視化からの分析

- ・ 既存計画における公共施設改修費等の費用については、概ね計画の見通しが出ている【期間Ⅰ】の4年間に、水道施設や下水道施設等の公営企業会計以外では、学校施設や、社会教育施設や社会体育施設等の市保有施設、市道に関する改修・更新等の費用割合が大きくなると予想されます。
- ・ 各計画で長寿命化やコストの平準化等の検討を進めた結果、稲敷市の従来の財政状況から見れば、【パターンA-1】のように、将来の投資可能額の推計値よりも十分に抑えた改修費用が予定されていると言えます。
- ・ 一方で、今後の財政規模の縮小を見据え、直近8年程で実施したような大規模な事業投資は行わずに、投資可能額を抑えて平準化すると考えた場合、【パターンA-2】のように、管理コストを期間Ⅰでは年あたり4億円ほど縮小することを考える必要があります。
- ・ 現実の事業を見据えた財政見通しでは、【パターンB】のように、既存の改修等の計画に加えて新設等の事業費も見込まれているため、投資可能額の推計値が高くなって余裕があるように見えます。しかし、実際には既存計画通りもしくは縮小の方向で改修等の計画を進めていかなければ、投資可能額よりも管理コストが上回ることが考えられます。
- ・ 特に、令和10年度以降には、歳入・歳出の収支がマイナスに転じることも予測されていることから、期間Ⅱ（令和10年度～令和13年度）では、縮小した投資可能額に見合うように管理コストを抑制することと同時に、投資等を可能とする収入源の確保を進めていくことが重要と考えられます。



### III 今後の進め方について

---





# 1. 公共施設管理運営コストの議論を進めるために

## (1) 再編方針の位置づけの明確化と整理

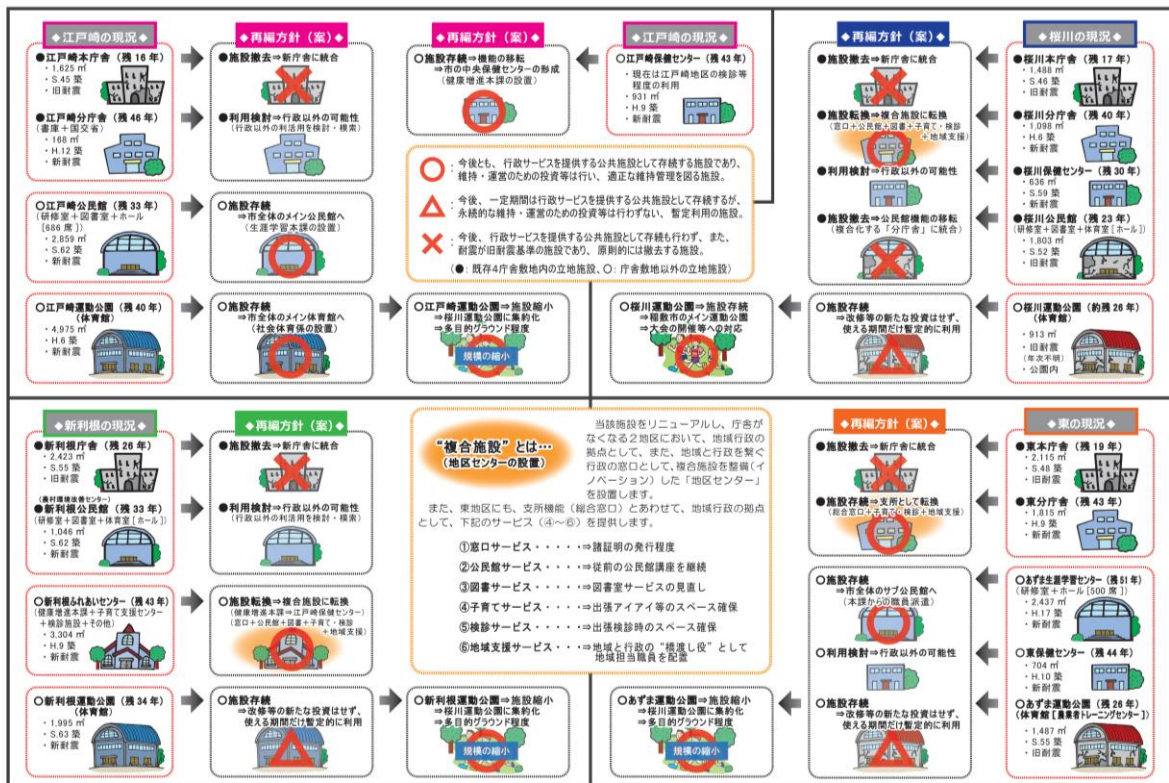
### ① 「稲敷市公共施設再編方針」の位置づけの明確化と整理

本市の公共施設の統廃合の前提となっている「稲敷市公共施設再編方針について」は、平成26年度に検討したものであり、9年近くが経過した今、公共施設の再編は進み、結果として方針と実態が異なるケースも生じています。今後は、公共施設の実態を再整理し、さらに8年後の「公共施設再編方針」を検討することが必要です。

### ② 「稲敷市公共施設等総合管理計画」の数値目標との整合

「稲敷市公共施設等総合管理計画」の数値目標では、「公共建築物の総量削減：今後30年間で延床面積の総量を3割スリム化」としており、「公共施設再編方針」を進めた結果、今後8年後までに計画当初（平成28年度）から2割ほどの面積削減を達成できるかの検証も必要です。

### 【稲敷市公共施設再編方針の全体イメージ】



資料)「稲敷市公共施設再編方針(概要)」

## (2) 施設利用データ等の収集・分析

### ① 詳細な施設利用データの把握

今後の公共施設運営では、予約システムの導入等、積極的にデジタル化を推進することにより、提供するサービスの質の向上とともに管理する側の効率化も期待されます。

これまでの利用状況としては、紙媒体をもとに利用者数が延べ人数で集計され、実態が把握しにくかったものの、今後はデータベースをもとに、各団体の利用頻度、大会・イベントによる利用人数、市外からの利用状況等、利用実態の正確な把握を進め、今後の公共施設の管理運営コストの検討に活かしていく必要があります。

### ② 公共施設に関する市民意向調査の実施

一方で、使う側の市民について、現状でどの程度公共施設を利用しているか、また、公共施設に対して満足しているか、今後の方向性に関してどのような意向をもっているかなどを把握することが課題となります。

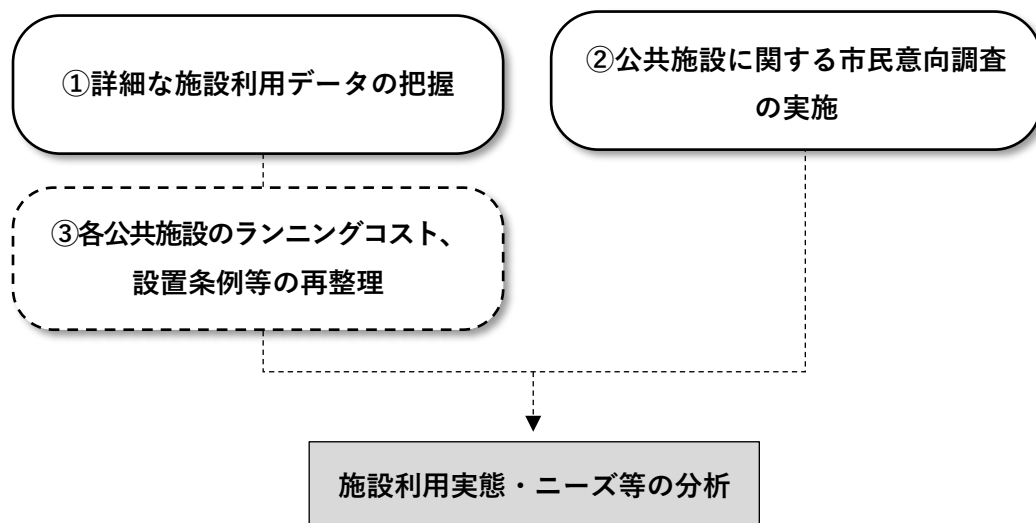
このため、今後「公共施設に関する市民意向調査」を実施し、施設の利用状況や満足度、今後のあり方などを把握することが必要です。

### ③ 各公共施設のランニングコスト、設置条例等の再整理

本調査では、公共施設の財政面の投資可能額と改修などの管理コストから検討を行っていますが、今後再編方針を再整理するにあたっては、改めて施設ごとの光熱費、除草費用等のランニングコストを整理する必要があります。

また、それぞれの施設の設置条例を整理し、現在の利用実態と比較して、施設の意義や今後の方向性を議論していくことが必要です。

#### 【施設利用データ等の収集・分析】



### (3) 庁内及び市民のコンセンサスの醸成

#### ① (仮称) 公共施設管理運営コスト検討委員会の設置

(1) で示したように、本市の公共施設再編方針について整理を行い、庁内で再度コンセンサスを得る必要があります。

このため、まずは庁内関係各課による「(仮称) 公共施設管理運営コスト検討委員会」を設置し、施設利用状況の分析や市民意向の把握により公共施設の管理運営コストや今後のあり方について議論し、公共施設再編方針のたたき台を作成していく必要があります。

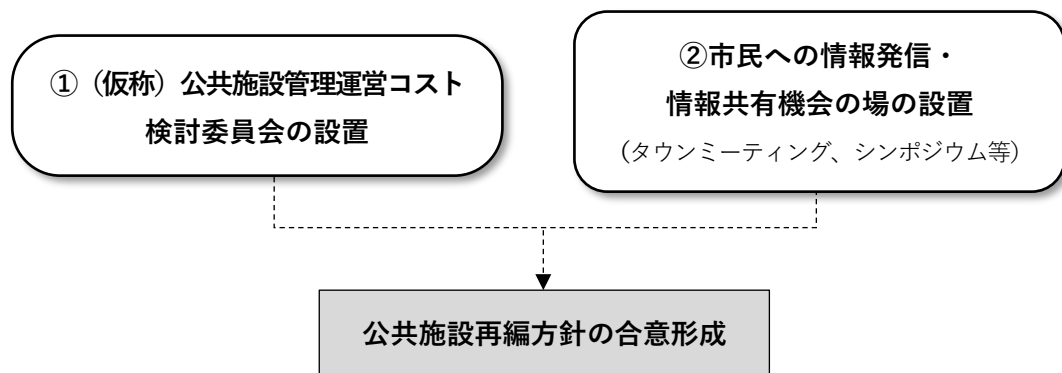
#### ② 市民への情報発信・情報共有機会の場の設置

公共施設やサービスを利用するのはそこに暮らす市民です。地域の人口減少や少子高齢化を踏まえると、今後は職員だけでなく、市民の方々と今まで以上に連携しながら、公共施設の管理運営を行っていく必要があります。

特に地区公民館・地区センター等は、各施設を暮らしの交流拠点とし、地区の個性を育て、みんなで見守り支え合う、居場所づくりを実現することが重要です。また、将来に向けて、地域づくりを担う人材を育成していくことも考えられます。

今後は、市民に向けて、意向調査や分析結果のホームページでの公表や広報等への掲載、公共施設に関する情報共有機会の提供など(タウンミーティング、シンポジウム等)を順次行って、市民とともに、本市の公共施設の将来目指すべき方向性を検討していく必要があります。

### 【庁内及び市民のコンセンサスの醸成】



## (4) その他

### ①アウトソーシングの可能性検討

今後の公共施設運営に向けて、経費の削減と共に人材確保を図るため、市が直接運営する施設の集約化を図るとともに、近年、他自治体でも取組が進んでいる業務委託や指定管理者制度の導入等、必要に応じてアウトソーシングを進めていくことが考えられます。

これにより、収益を伴う事業の実施や専門知識を必要とする人材の確保等の課題への対応策を検討していくことが考えられます。

### ②将来に備えた財源確保の検討

公共施設の管理運営コストを抑える議論を進める一方で、将来的には、再編後の施設を維持するためにかかる費用や大規模な改修、建替え等に備え、財源の確保を併せて検討していくことが必要と考えられます。

施設の使用料などの見直しや、民間の資金やノウハウを活用したPFIの導入、将来の公共施設の整備に備えた基金の創設、ネーミングライツ（施設の命名権）、ふるさと納税制度の活用など、地方交付税や地方債等の依存財源だけではなく、工夫を凝らして自主財源を確保していく手段を検討していくことが必要です。

## 2. 公共施設に関する市民意識調査の概要

### (1) 調査の目的

市民が現状でどの程度公共施設を利用しているか実態を把握するほか、公共施設に対する満足度や今後の方向性に関する意向を把握し、公共施設の管理コストを検討するうえでの参考とすることを目的とします。

### (2) 調査の内容

実際の調査の内容については、回答者の属性、公共施設の実際の利用状況を把握する設問、現在の施設の満足度を把握する設問、将来の公共施設のあり方に関する設問などが考えられます。

#### 【市民意識調査の内容（案）】

項目	問番号	内容
調査の依頼文		
アンケート調査票		
I 回答者の属性	問1～ 問6	・年齢、地区別などによる分析を想定 ・通勤通学先による利用の違い
II 公共施設の利用状況 (建築物系を施設ごとに)	問7	・利用頻度の把握 → 統計上に現れる延べ人数ではなく、 <u>実際に人口の何パーセントの人が利用しているのか</u> を 探る ・施設の認知度の把握 ・市外の施設を利用しているという選択肢も考えられる ※学校、市営住宅は除く
III 公共施設の満足度 (建築物系の種類ごとに)	問8	・満足・不満の度合 ・不満な場合の理由 ※学校、市営住宅は除く
IV 公共施設のあり方	問9～ 問12	・今後の方針として、量と質をどのように確保すべきか ・維持管理の方向性 ・優先すべき機能（学校や市営住宅も追加） ・市民との検討の方法
自由回答		

## 稲敷市 公共施設に関する市民意向調査

### ～ ご協力のお願い ～

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

稲敷市では、急速に進む人口減少・少子高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が幅広い分野に及んでいる中、令和4年4月からは市全域が「過疎地域」に指定されました。

今後は財政状況もますます厳しいものになると予想され、公共施設の維持管理方法や、管理運営コストを市全体で見直し、持続可能な地域となるための公共施設のあり方を検討していくことが必要となっています。

この調査は、今後の公共施設のあり方の検討に向けて、公共施設の利用状況や、維持管理コストに関する考え方などについて、市民の皆様にご理解いただき、調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

#### ◆ 記入にあたってのお願い

- 1 なるべくご本人（アンケートの宛名の方）がご回答ください。
- 2 調査は無記名です。
- 3 回答は、アンケート調査票に直接ご記入ください。
- 4 設問には、1つ選択する項目や複数選択する項目があります。各設問の指定にしたがって、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
- 5 「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 6 ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

**令和5年●月●日（●）**までにポストへご投函ください。

#### ◆ アンケートに関するお問い合わせ先

稲敷市 行政経営部 企画財政課  
〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚 1570 番地 1  
TEL：029-892-2000（代表）

# アンケート調査票

## I 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。

問1 あなたの性別は【○は1つ】

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は【○は1つ】

- |            |         |          |
|------------|---------|----------|
| 1. 18～20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代  |
| 4. 50歳代    | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業は【○は1つ】（※兼業の場合は主な職業のみを選択）

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 農林漁業（家族従事者を含む）      | 2. 会社員（すべての業種の勤め人） |
| 3. 自営業（製造・建設業）         | 4. 自営業（商業・サービス業）   |
| 5. 公務員・教職員（公社・公団職員も含む） | 6. パート・アルバイト       |
| 7. 学生                  | 8. 無職（高齢者含む）       |
| 9. 主婦（主夫）              | 10. その他（具体的に )     |

問4 《問3で1～7を選択した方が対象》主な通勤・通学先は【○は1つ】

- |               |           |       |
|---------------|-----------|-------|
| 1. 市内         | 2. 市外（県内） | 3. 県外 |
| 4. その他（具体的に ) |           |       |

問5 あなたのお住まいの地区は【○は1つ】

- |          |          |         |        |
|----------|----------|---------|--------|
| 1. 江戸崎地区 | 2. 新利根地区 | 3. 桜川地区 | 4. 東地区 |
|----------|----------|---------|--------|

問6 あなたの稲敷市での居住期間は【○は1つ】

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 5年未満        | 2. 5年以上～10年未満 |
| 3. 10年以上～20年未満 | 4. 20年以上      |

## II 公共施設の利用状況についてお伺いします。

問7 稲敷市の公共施設の利用状況についてお伺いします。あなたは、それぞれの公共施設について、この1年間にどのくらい利用していますか。【それぞれ1～5のうち1つに○】

### 【公共施設の利用状況】

利用状況		利用している			利用していない	施設を知らない
		週1回以上	月1回以上	年数回程度		
公共施設の種類		【1～5のうち1つに○】				
①庁舎	稲敷市役所	1	2	3	4	5
	東支所 ※子育て支援センターを除く	1	2	3	4	5
②保健福祉施設	保健センター	1	2	3	4	5
	江戸崎福祉センター	1	2	3	4	5
	いこいのプラザ	1	2	3	4	5
	ハートピアいなしき	1	2	3	4	5
③公民館	江戸崎中央公民館	1	2	3	4	5
	新利根公民館（新利根地区センター） ※子育て支援センターを除く	1	2	3	4	5
	桜川公民館（桜川地区センター）	1	2	3	4	5
	あずま生涯学習センター	1	2	3	4	5
④図書館・資料館	図書館	1	2	3	4	5
	歴史民俗資料館	1	2	3	4	5



公共施設の種類	利用状況	利用している			利用していない	施設を知らない
		週1回以上	月1回以上	年数回程度		
【1～5のうち1つに○】						
⑤コミュニティセンター	君賀コミュニティセンター	1	2	3	4	5
	沼里コミュニティセンター	1	2	3	4	5
	鳩崎コミュニティセンター	1	2	3	4	5
	高田コミュニティセンター	1	2	3	4	5
⑥体育館	江戸崎総合運動公園（体育館）	1	2	3	4	5
	新利根総合運動公園（体育館）	1	2	3	4	5
	東農業者トレーニングセンター	1	2	3	4	5
⑦運動公園	江戸崎総合運動公園	1	2	3	4	5
	新利根総合運動公園	1	2	3	4	5
	桜川総合運動公園	1	2	3	4	5
	浮島運動広場	1	2	3	4	5
	東グラウンド	1	2	3	4	5
⑧子育て支援施設	子育て支援センター あいアイ（新利根公民館内）	1	2	3	4	5
	子育て支援センター あいアイ東（東支所内）	1	2	3	4	5
⑨産業系施設	えどさき笑遊館	1	2	3	4	5

### Ⅲ 公共施設の満足度についてお伺いします。

問8 普段お使いの公共施設に対する満足度についてお伺いします。あなたは、それぞれの公共施設を利用するにあたって、満足していますか。【それぞれ5～0のうち1つに○】

また、問7以外で示した施設以外は、⑩の「その他」に具体的にご記入ください。

#### 【公共施設の満足度】

《次のページへ》

公共施設の 種類	施設の 満足度	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
	【5～0のうち1つに○】						
①庁舎		5	4	3	2	1	0
②保健福祉施設		5	4	3	2	1	0
③公民館		5	4	3	2	1	0
④図書館・資料館		5	4	3	2	1	0
⑤コミュニティセンター		5	4	3	2	1	0
⑥体育館		5	4	3	2	1	0
⑦運動公園		5	4	3	2	1	0
⑧子育て支援施設		5	4	3	2	1	0
⑨産業系施設		5	4	3	2	1	0
⑩その他( )		5	4	3	2	1	0

問8-1 問7で「不満」「やや不満」と回答した方にお伺いします。どのようなことが理由で公共施設に不満を持っていますか。【1～8のうち、あてはまるものすべてに○】  
また、「その他」の場合は、右の空欄に具体的に直接記入をお願いします。

**【不満を感じる理由】**

不満を感じる理由 公共施設の種類	交通が不便	建物や設備が使いづらい・古い	利用時間が合わない	サービスが良くない	利用料金が高い	他市町村のほうが良い	民間施設のほうが利用しやすい	その他 (具体的な理由)
	【1～8のうち、あてはまるものすべてに○】							
①庁舎	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
②保健福祉施設	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
③公民館	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
④図書館・資料館	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
⑤コミュニティセンター	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
⑥体育館	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
⑦運動公園	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
⑧子育て支援施設	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
⑨産業系施設	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
⑩その他 ( )	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )



問 11 公共施設のサービスのなかで、将来にわたって優先的に維持するべきサービスはどのような機能だと思いますか。【〇は5つまで】

- 1 行政窓口機能 《市役所、支所など》
- 2 保健機能 《保健センターなど》
- 3 高齢者福祉・障がい者福祉機能 《福祉センターなど》
- 4 集会機能 《生涯学習センター、コミュニティセンターなど》
- 5 防災・避難所機能 《防災・消防センター、コミュニティセンターなど》
- 6 生涯学習機能 《生涯学習センター、図書館、資料館など》
- 7 スポーツ機能 《体育館、運動公園など》
- 8 子育て支援機能 《保育所、こども園、児童クラブなど》
- 9 教育機能 《幼稚園、小学校、中学校など》
- 10 居住機能 《市営住宅など》
- 11 その他 ( )

問 12 今後、公共施設のあり方について検討していく際には、実際に施設を利用していただく市民の皆様にかかわっていただきながら検討する必要があると考えますが、どのような形で検討していくことが望ましいと考えますか。【〇は3つまで】

- 1 アンケート結果の公表（ホームページ、広報紙などへの掲載）
- 2 市民団体の代表や学識経験者を交えた委員会の設置
- 3 市民の方々との地区ごとの懇談会の開催
- 4 公共施設に関する勉強や視察等の開催
- 5 インターネットや電子メール等を活用したアイデアの募集
- 6 検討結果の公表と、それに対する意見の募集（パブリックコメント）
- 7 その他 ( )



## 資料編

---

公共施設改修計画 一覧表①【公共建築物系】

施設区分	公共施設再編方針	区分	公共施設再編方針	長寿命化等 （現在）	延べ面積 （㎡）	施設面積等 （㎡等）	建築様式			建築年			土地所有形態			再編方針
							RC造 S造等	新基準 （S56-）	（西暦）	築年数 （～ 2021）	敷地計 （㎡）	市有地 （㎡）	民地分 （㎡）			
①庁舎施設	庁舎	1	江戸橋本庁舎		1,625	820	RC造	S45	1970	51					施設廃止	
①庁舎施設	庁舎	2	江戸橋本分庁舎		168	168	RC造	H12	2000	21	9,085	9,085	0		利活用検討	
①庁舎施設	庁舎	3	新利根庁舎		2,423	1,047	RC造	S55	1980	41	19,111	19,111	0		施設廃止	
①庁舎施設	庁舎	4	桜川本庁舎		1,488	978	RC造	S46	1971	50					施設廃止	
①庁舎施設	庁舎	5	桜川分庁舎		1,098	548	RC造	H6	1994	27	20,266	11,378	8,888		桜川公民館（桜川地区センター）	
①庁舎施設	庁舎	6	東本庁舎		2,115	1,123	RC造	S48	1973	48	13,728	13,728	0		施設廃止	
①庁舎施設	庁舎	7	東分庁舎	2 東支所	1,815	636	RC造	H9	1997	24	6,223	6,223	0			
①庁舎施設	庁舎	-	新庁舎	1 稲敷市役所本庁舎	9,242		S造	H28	2016	5	30,854,315	30,854,315	0		活用継続	
②保健福祉施設	保健センター	10	江戸橋保健センター	6 稲敷市保健センター	931	1階	RC造	H8	1996	25	1,934	1,934	0		活用継続	
②保健福祉施設	保健センター	12	桜川保健センター		601	1階	RC造	S59	1984	37	1,901	1,901	0		利活用検討	
②保健福祉施設	保健センター	13	東保健センター		704	776	RC造	H10	1998	23	3,510	3,510	0		利活用検討	
②保健福祉施設	福祉センター	14	江戸橋福祉センター	3 江戸橋福祉センター	1,497	1,753	S造	H4	1992	29	7,118	4,776	2,342		活用継続	
②保健福祉施設	福祉センター	15	新利根いきのいプラザ	5 いのいのプラザ	380	382	W造	H15	2003	18	2,308	2,308	0		活用継続	
②保健福祉施設	その他			7 小角児童公園管理棟	35		S造	H20	2008	13	1,329	1,329	0		活用継続	
③社会教育施設	公民館	16	江戸橋公民館	8 江戸橋中央公民館	2,859	-	RC造	S61	1986	35	9,376	0	9,376		活用継続	
③社会教育施設	公民館	17	新利根農村環境改善センター		1,046	-	RC造	S62	1987	34	4,781	4,781	0		利活用検討	
③社会教育施設	公民館	11	新利根ふれあいセンター	9 新利根地区センター	3,304	1階	RC造	H9	1997	24	19,353	19,353	0		活用継続	
③社会教育施設	公民館	18	桜川公民館・体育館		1,803	1,180	RC造	S52	1977	44	3,579	3,579	0		施設廃止	
③社会教育施設	公民館			10 桜川公民館（桜川地区センター）	1,258		W造	H29	2017	4	7,343	7,343	0		活用継続	
③社会教育施設	公民館	19	あずま生涯学習センター	11 あずま生涯学習センター	2,437	1,881	RC造	H16	2004	17	3,910	3,910	0		活用継続	
③社会教育施設	公民館	20	（旧）東公民館		539	-	S造	S44	1969	52	778	778	0		公共施設として利用していない	
③社会教育施設	図書館・資料館	21	図書館	12 稲敷市図書館	1,586	2階	RC造	H4	1992	29	19,491	19,491	0		活用継続	
③社会教育施設	図書館・資料館	22	歴史民俗資料館	13 歴史民俗資料館	1,414	2階	RC造	H5	1993	28	19,491	19,491	0		活用継続	
③社会教育施設	その他			14 君賀コミュニティセンター	443		S造	H4	1992	29	3,000	3,000	0		統合等	
③社会教育施設	その他	23	沼里コミュニティセンター	16 沼里コミュニティセンター	443	582	S造	H4	1992	29	4,557	2,699	1,858		統合等	
③社会教育施設	その他	24	鳩崎コミュニティセンター	17 鳩崎コミュニティセンター	447	518	S造	H4	1992	29	1,945	0	1,945		統合等	
③社会教育施設	その他	25	高田コミュニティセンター	15 高田コミュニティセンター	446	533	S造	H5	1993	28	3,789	3,001	788		統合等	
④社会体育施設	体育館	26	江戸橋体育館	18 江戸橋総合運動公園（体育館）	4,976	4,246	RC造	H6	1994	27	83,300	83,300	0		活用継続	
④社会体育施設	体育館	27	新利根体育館	19 新利根総合運動公園（体育館）	1,967	2,011	S造	S63	1988	33	108,309	108,309	0		活用継続	
④社会体育施設	体育館	28	桜川体育館（旧青年の家）		888	928	S造	S55	1980	41	-	-	-		暫定利用（概ね10年）	
④社会体育施設	体育館	29	東農業者トレーニングセンター	20 東農業者トレーニングセンター	1,487	1,268	RC造	S55	1980	41	5,387	5,387	0		統合等	
④社会体育施設	フィールド施設	30	江戸橋総合運動公園	1 江戸橋総合運動公園	-	-	-	S63	1988	33	73,938	73,938	0		グラウンドとして活用継続	
				1（多目的グラウンド）	-	-	-	H16	2004	17	8,000					
				1（テニスコート）	-	-	-	S63	1988	33	2,800					
				1（ナイター照明）	-	-	-	S63	1988	33	-					
				1（野球場）	-	-	-	S63	1988	33	13,000					
				1（ナイター照明）	-	-	-	S63	1988	33	-					
④社会体育施設	フィールド施設	31	沼田運動場	2 沼田運動公園（野球場）	8,600	-	-	S57	1982	39	15,516	0	15,516		公共施設として利用していない	
④社会体育施設	フィールド施設	32	新利根総合運動公園	3 新利根総合運動公園	-	-	-	H17	2005	16	127,089	127,089	0		グラウンドとして活用継続	
				3（多目的グラウンド）	-	-	-	H17	2005	16	14,800					
				3（テニスコート）	-	-	-	H1	1989	32	3,000					
				3（ナイター照明）	-	-	-	H1	1989	32	-					
				3（野球場）	-	-	-	H16	2004	17	12,400					
				3（ナイター照明）	-	-	-	H16	2004	17	-					
				3（ゲートボール場）	-	-	-	H1	1989	32	2,000					
				4 弓道場	-	-	-	不明	不明	30以上	170					
				4 弓道場（射場）	50	-	-	不明	不明	30以上	-					
④社会体育施設	フィールド施設	33	桜川総合運動公園	5 桜川総合運動公園	-	-	-	H9	1997	24	125,321	47,243	78,078		活用継続	
				5（テニスコート）	-	-	-	H9	1997	24	2,800					
				5（ナイター照明）	-	-	-	H9	1997	24	-					
				5（野球場）	-	-	-	H9	1997	24	12,900					
				5（野球場観覧席）	900	-	-	H9	1997	24	-					
				5（ナイター照明）	-	-	-	H9	1997	24	-					
④社会体育施設	フィールド施設	34	浮島運動場	6 浮島運動広場（多目的グラウンド）	-	-	-	S60	1985	36	14,500	14,500	0		グラウンドとして活用継続	
④社会体育施設	フィールド施設	35	東総合運動公園（白鷺球場）	7 白鷺球場	-	-	-	H2	1990	31	14,863	14,863	0		グラウンドとして活用継続	
				7（野球場）	-	-	-	H2	1990	31	11,100					
				7（ナイター照明）	-	-	-	H2	1990	31	-					
				8 東サッカー場（多目的グラウンド）	-	-	-	H2	1990	31	4,000					
				9 東グラウンド（多目的グラウンド）	-	-	-	S55	1980	41	11,000					
				10 弓道場	-	-	-	H17	2005	16	175					
				10 弓道場（射場）	25	-	-	H17	2005	16	-					
④社会体育施設	フィールド施設	36	東	光葉団地テニスコート	-	-	-	H7	1995	26	7,621	7,621	0			



管理方針	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
各計画											
予防保全			部位修繕 48.8								
予防保全	部位修繕 74.8										
予防保全	部位修繕 120.3										
-(木造)							修繕設計 2.7	定期修繕 27.3			
事後保全			部位修繕 0.8				修繕設計 0.2	定期修繕 2.3			
予防保全	部位修繕 207.2				大規模改修設計 68.6	大規模改修工事 343.1	大規模改修工事 343.1				
予防保全			部位修繕 239.5								
-(木造)											
予防保全			修繕設計 19.5	定期修繕工事 195.0							
予防保全			部位修繕 99.0							大規模改修設計 38.1	大規模改修工事 380.6
予防保全			部位修繕 82.1								
事後保全			部位修繕 29.6								
事後保全			部位修繕 7.4								
事後保全			部位修繕 12.0								
事後保全			部位修繕 12.0								
予防保全			部位修繕 296.6								
予防保全			部位修繕 116.6				大規模改修設計 42.5	大規模改修工事 424.9			
事後保全		修繕設計 10.7	定期修繕設計 107.1								
機能改修				大規模改修	大規模改修						
現状維持				大規模改修							
現状維持				大規模改修							
機能縮小				大規模改修							
機能縮小・廃止				検討期間							
廃止											
現状維持				大規模改修							
現状維持				計画改修							
現状維持				計画改修							
長寿命化						大規模改修	大規模改修				
長寿命化						大規模改修	大規模改修				
現状維持				大規模改修							
集約化				検討期間							
集約化				検討期間							
現状維持				更新							
現状維持				更新							
機能改修			更新	更新							
機能改修			更新	更新							
機能改修			更新	更新							
現状維持											
機能縮小				計画改修							
機能縮小・廃止				検討期間							
現状維持				計画改修							
現状維持				計画改修							
長寿命化						大規模改修					
長寿命化											



管理方針	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
各計画											
維持管理											
長寿命化			長寿命化	167.7							
長寿命化	長寿命化	99.6									
長寿命化	長寿命化	67.8									
長寿命化				長寿命化	191.9						
維持管理											
維持管理											
維持管理											
大規模改修					大規模改修	432.7					
大規模改修							大規模改修	96.1			
維持管理											
長寿命化						長寿命化	543.6				
長寿命化						長寿命化	82				
維持管理											
長寿命化							長寿命化	243.8			
維持管理											
維持管理											
維持管理											
長寿命化	長寿命化	205.7									
長寿命化									長寿命化	29.4	
維持管理											
維持管理											
維持管理											
維持管理											
維持管理											
維持管理											
長寿命化				長寿命化	443.1						
維持管理											
長寿命化				長寿命化			182				
廃校											
廃校											
長寿命化				長寿命化	424.8						
維持管理											
維持管理											
長寿命化			長寿命化	147.2							
廃校											
廃校											
廃校											
大規模改修								大規模改修	271.6		
大規模改修								大規模改修	53.6		
維持管理											
維持管理											
廃校											
廃校											
廃校											
長寿命化				長寿命化	689.8						
長寿命化				長寿命化					135.8		
長寿命化	長寿命化	549.7									
長寿命化				長寿命化	131.6						
長寿命化			長寿命化	641.3							
長寿命化				長寿命化					135.8		



管理方針	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
各計画											
事後保全			部位修繕 72.3								
事後保全	部位修繕 58.2										
事後保全			部位修繕 66.7								
事後保全			部位修繕 24.9								
予防保全			修繕設計 12.8			定期修繕 128.4					
-(木造)											
-(木造)											
-(木造)			部位修繕 24.2								
-(木造)											
事後保全		部位修繕 5.8				修繕設計 0.8			定期修繕工事 8.0		
事後保全			部位修繕 1.7						修繕設計 0.8	定期修繕工事 8.2	
事後保全											
事後保全		修繕設計 4.3	定期修繕工事 43.0								
事後保全			修繕設計 1.2	定期修繕工事 11.9							
事後保全		修繕設計 1.0	定期修繕工事 9.9								
事後保全			修繕設計 0.9	定期修繕工事 8.6							
事後保全			修繕設計 0.8	定期修繕工事 8.4							
事後保全			部位修繕 2.2								
事後保全		修繕設計 0.8	定期修繕工事 8.2								
事後保全			修繕設計 0.8	定期修繕工事 8.2							
事後保全		部位修繕 3.8									
-(木造)											
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
維持管理			安全性確保 0.5			長寿命化 5.0					
維持管理						長寿命化 5.0					
維持管理				長寿命化 2.0							
当面維持保全	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間後に用途廃止 (入居者退去後)										
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
維持管理		安全性確保 3.5				長寿命化 15.4					
維持管理	居住性向上 2.0			耐用年数					長寿命化 19.7		
維持管理				耐用年数						長寿命化 39.4	
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
用途廃止	優先的な用途廃止 (入居者退去後)										
維持管理			安全性確保 0.5		長寿命化 5.0						
維持管理					長寿命化 5.0						
当面維持管理	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間後に用途廃止 (入居者退去後)										
当面維持管理	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間後に用途廃止 (入居者退去後)										
当面維持管理	計画期間中に募集停止										
当面維持管理	計画期間後に用途廃止 (入居者退去後)										
維持管理		居住性向上 2.0				長寿命化 17.8					
維持管理			居住性向上 2.0					長寿命化 17.8			
建築物	1,191.8	1,284.7	1,410.3	1,279.5	954.3	1,182.8	1,018.8	962.7	20.5	86.3	388.8
保有施設保全計画	4.7	4.9	5.5	5.0	0.8	3.7	5.3	4.5	0.0	0.5	3.9
スポーツ施設個別計画		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
学校長寿命化計画	7.2	7.9	8.6	7.7	8.6	8.1	4.8	4.9	-	-	-
市営住宅長寿命化計画	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.0
	11.9	14.0	15.3	13.9	10.7	13.0	11.3	10.8	1.4	2.0	5.0
保有施設保全計画 (2021-2030年度)		10.4 (35.7%)			14.7 (30.1%)				8.9 (46.4%)		
スポーツ施設個別計画 (2022-2051年度)		2.3 (7.9%)			4.6 (9.4%)				4.6 (24.0%)		
学校長寿命化計画 (2019-2028年度)		16.5 (56.3%)			29.1 (59.4%)				4.9 (25.6%)		
市営住宅長寿命化計画 (2020-2029年度)		0.0 (0.2%)			0.6 (1.1%)				0.8 (4.0%)		
		29.3 (100.0%)			49.0 (100.0%)				19.2 (100.0%)		



2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
				点検					
		点検	点検		点検/設計	点検	1.0 工事	2.0	
			点検			点検			
		点検	点検		点検	点検			
			点検			点検			
		点検			設計	3.0 点検/工事	6.0		
点検			点検			点検			
点検			設計	2.0 点検/工事	4.0				
点検			設計	2.0 点検/工事	4.0				
点検			点検/設計		2.0 工事	4.0			
点検			点検/設計		2.0 工事	4.0			
点検			設計	2.0 点検/工事	4.0				
点検			点検/設計		2.0 工事	4.0			
点検			設計	2.0 点検/工事	4.0				
		点検			点検/設計		1.0 工事	2.0	
		点検	設計	3.0 工事	6.0		点検		
		点検			点検	設計		3.0	
			点検/設計	2.0 工事	4.0			点検	
点検			点検	設計		0.5 工事	1.0		
設計/工事	12.4			点検		設計	0.5 工事	1.0	
設計/工事	12.8			点検					
		点検			点検				
設計/工事	13.6				点検				
設計/工事	14.1				点検				
			点検			点検			
設計/工事	10.6				点検				
設計/工事	14.1				点検				
	設計	4.9 工事	25.8	点検		点検			
		点検				点検/設計	2.0 工事	4.0	
			点検			点検			
		点検				点検/設計	1.0 工事	2.0	
		点検				点検			
			点検/設計	1.0 工事	2.0			点検	
		点検				点検			
点検			点検			設計	1.0 工事	2.0 点検	
点検			点検	設計		1.0 工事	2.0		
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
		点検				設計	1.0 点検/工事	2.0	
			点検			点検			
			点検			点検			
			点検			点検			
			点検			点検/設計		3.0	
		点検				設計	0.5 点検/工事	1.0	
点検		点検				点検/設計	1.0 工事	2.0	
			点検			設計	0.5 工事	1.0	
		点検				点検			
点検			点検			点検/設計	2.0 工事	4.0	
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検/設計/工事	4.7					点検			
点検/設計/工事	4.8		点検			点検	設計		3.0
点検/設計/工事	6.4					点検			
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検			点検						
点検/設計/工事	4.0					点検			
			点検			点検			
点検			点検			設計	1.0 点検		
点検			点検					点検	
		点検	設計	3.0 工事	6.0				
		点検				点検			
			点検			点検			
点検			点検/設計			2.0 工事	4.0		
66.0	-	30.0	32.0	60.0	66.0	-	30.0	28.0	

施設区分	区分	公共施設再編方針	再編後（現在）	延長/橋長 (m)	幅員 (m)	建築年			管理方針 各計画	2021 (R3)	
						新基準 (S56-)	(西暦)	築年数（～ 2021）			
②道路	市道	全	1級路線	切削オーバーレイ（更新頻度20年）	107.9	652,467				舗装更新	
	市道	全	2級路線	切削オーバーレイ（更新頻度30年）	65.5	364,267				舗装更新	
	市道	全	その他路線（舗装：幹線）	舗装打ち換え（更新頻度50年）	41.7	167,345				舗装更新	
	市道	全	その他路線（舗装：その他）	舗装打ち換え（更新頻度100年）	931.4	3,737,780				舗装更新	
	市道	全	その他路線（未舗装）	敷砂利（更新頻度50年）	743.6	2,982,220				舗装更新	
③下水道処理施設	汚水処理施設	江	M P・制御盤	-							
	汚水処理施設	江	処理場	江戸崎終末処理場						更新・長寿命化	
	汚水処理施設	新	M P・制御盤	新利根 柴崎1号、2号（動力制御盤）						更新	
	汚水処理施設	新	処理場	-							
	汚水処理施設	桜	M P・制御盤	-							
	汚水処理施設	桜	処理場	古渡整備浄化センター						更新・長寿命化	
③農業集落排水	汚水処理施設	東	M P・制御盤	あずまNo.1～34						更新	
	汚水処理施設	東	処理場	あずま浄化センター			2001	20		更新	
③農業集落排水	管路施設	全	浮島	機能保全							0.0
	汚水処理施設	全	浮島	機能保全							6.8
	管路施設	全	阿波東部	機能保全							0.0
	汚水処理施設	全	阿波東部	機能保全							1.4
	管路施設	全	阿波西部								0.0
	汚水処理施設	全	阿波西部								35.6
	管路施設	全	曲刈	機能保全							2.4
	汚水処理施設	全	曲刈	機能保全							56.6
	管路施設	全	君賀	機能保全							0.0
	汚水処理施設	全	君賀	機能保全							62.7
	管路施設	全	古渡東部	機能保全							12.9
	汚水処理施設	全	古渡東部	機能保全							56.6
	管路施設	全	東中部	機能保全							5.4
	汚水処理施設	全	東中部	機能保全							56.1
	管路施設	全	鳩崎	機能保全							0.0
汚水処理施設	全	鳩崎	機能保全							159.4	
④水道	構築物及び設備	江	江戸崎浄水場	塩素注入設備、記録計等						更新	77.9
	構築物及び設備	東	東浄水場	監視制御設備、取水ポンプ等						更新	
	構築物及び設備	新	新利根配水場	動力設備、ポンプ設備等						更新	
	構築物及び設備	桜	桜川配水場	水位計、流量計設備等						更新	
	構築物及び設備	全	根本浄水場	警報計、積算計等						更新	
	構築物及び設備	桜	西部増圧場	電気計装設備、流量計等						更新	
	構築物及び設備	江	高田増圧場	電気計装、流量計等						更新	
	構築物及び設備	東	新川増圧場	受水流量計更新						更新	
	管路	全	管路更新		770					更新	55.0
	管路	全	管路更新		1,118					更新	
	管路	全	管路更新		1,000					更新	
	管路	全	管路更新		1,000					更新	
	管路	全	管路更新		1,000					更新	
	管路	全	管路更新		1,000					更新	
	管路	全	管路更新		1,000					更新	
(億円)											
										橋梁	1.2
										道路（市道）	0.0
										下水道処理施設	0.0
										農業集落排水	4.6
										水道	1.3
										道路+橋梁	
										水道+下水道	
										橋梁（2021～2030年度）	1.2
										道路（市道）	0.0
										下水道処理（2022～2026年度）	0.0
										農業集落排水（2021～2026年度）	4.6
										水道（2017～2029年度）	1.3
										道路+橋梁	
										水道+下水道	



2022	(R4)	2023	(R5)	2024	(R6)	2025	(R7)	2026	(R8)	2027	(R9)	2028	(R10)	2029	(R11)	2030	(R12)	2031	(R13)
254.5		254.5		254.5		254.5		254.5		254.5		254.5		254.5		254.5		254.5	
94.7		94.7		94.7		94.7		94.7		94.7		94.7		94.7		94.7		94.7	
26.8		26.8		26.8		26.8		26.8		26.8		26.8		26.8		26.8		26.8	
299.0		299.0		299.0		299.0		299.0		299.0		299.0		299.0		299.0		299.0	
59.6		59.6		59.6		59.6		59.6		59.6		59.6		59.6		59.6		59.6	
0		0.0		0		0		0		0									
3.5		7.3		0		0		271.9											
5.9		0		0		0		3.2											
0.0		0		0		0		0.0											
0.0		0		0.0		0.0		0											
40.6		0		221.4		33.1		0											
32.0		0		23.4		53.0		16.134											
0		0		152.2		354.6		101.3											
0.0		10.8		0.0		0.0		0.0		83.8		0.0		3.2		20.7		25.8	
137.4		31.4		62.3		67.8		56.4		0.0		30.8		25.9		1.2		9.3	
9.3		0.0		0.0		0.0		50.2		62.6		2.6		7.0		12.5		15.7	
24.7		54.8		189.2		44.4		7.0		0.0		40.5		17.5		9.4		5.4	
0.0		13.4		0.0		0.0		97.0		0.0		89.2		0.0		10.2		14.2	
33.0		59.2		56.8		118.2		3.3		32.1		0.0		28.9		18.2		12.7	
0.0		20.7		0.0		0.0		33.0		41.8		0.0		0.0		24.5		45.1	
175.7		50.2		71.5		4.6		7.7		14.0		26.9		0.0		65.2		43.6	
0.0		9.2		0.0		0.0		65.7		1.2		60.6		0.0		7.0		0.0	
11.5		56.6		60.3		133.4		10.3		55.4		2.1		2.1		0.0		0.0	
0.0		10.5		0.0		0.0		78.3		0.0		70.7		8.3		0.0		21.7	
175.7		164.9		54.2		44.5		0.0		39.3		0.0		28.4		37.2		9.7	
1.8		7.0		0.0		0.0		61.6		5.0		0.0		0.0		71.6		0.0	
38.5		30.6		79.7		216.1		6.1		54.7		0.0		0.0		24.4		99.5	
6.6		0.0		0.0		0.4		0.0		28.2		27.5		9.3		4.0		1.1	
52.3		72.4		43.3		27.4		30.7		5.7		0.0		13.3		23.3		27.1	
89.5																			
		224.0																	
				171.5															
						224.3													
								88.8											
										101.6									
												189.1							
														157.9					
79.0																			
				71.0															
								71.0											
										71.0									
												71.0							
														71.0					
1.6		0.0		0.6		0.4		0.9		0.9		0.2		0.5		0.6		0.0	
7.3		7.3		7.3		7.3		7.3		7.3		7.3		7.3		7.3		7.3	
0.8		0.1		4.0		4.4		3.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
6.7		5.9		6.2		6.6		5.1		4.2		3.5		1.4		3.3		3.3	
1.7		2.2		2.4		2.2		1.6		1.7		2.6		2.3		0.0		0.0	
9.0		7.4		7.9		7.8		8.2		8.2		7.6		7.9		7.9		7.3	
9.2		8.2		12.6		13.2		10.6		6.0		6.1		3.7		3.3		3.3	
1.7		(10.3%)				2.7		(8.5%)						1.3		(4.3%)			
14.7		(89.7%)				29.4		(91.5%)						29.4		(95.7%)			
0.9		(5.1%)				12.3		(29.1%)						0.0		(0.0%)			
12.6		(72.3%)				22.1		(52.1%)						11.5		(70.3%)			
3.9		(22.6%)				8.0		(18.9%)						4.9		(29.7%)			
16.4		(100.0%)				32.1		(100.0%)						30.7		(100.0%)			
17.4		(100.0%)				42.4		(100.0%)						16.4		(100.0%)			